

## 事項五 南潯鉄道ニ閥スル件

四五〇 一月八日 在九江 河西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛

**東亞興業ノ対南潯鉄道借款利子支払督促並省  
議会ニ於ケル外債利子保証否決ニ閥スル件**

機密往信第一号

大正六年一月八日

在九江

領事代理副領事 河 西 信(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

省議会ノ南潯鉄道ニ對スル決議ニ關シテハ客臘及報告置候  
處襄ニ總理李盛鐸ト商議ノ為メ北京ニ赴キタル同公司坐辦  
洪鑄ハ今朝帰尋シタルニ付東亞興業会社員成田鍊之助ハ直  
チニ同坐辦ニ会晤昨年下半期利子仕払方嚴談ニ及候處同公  
司ノ現状ニ鑒ミ暫ク猶予ヲ懇請スル旨申述何等具体的猶予  
ヲ申込シニアラサルヲ以テ期限経過後今日迄怠慢ニ附シタ  
ルヲ詰責シ至急利金ヲ交附スルカ若シ現金ヲ籌辦シ難シト  
セハ東亞興業会社ニ於テ首肯シ得ベキ考案ヲ立ラレタキ旨

右不取敢具報候 敬具  
写送先 在支那公使

四五一 二月十四日 在中國芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛

**中國鉄道借款ノ根本方針ニ閥スル交通部顧問**

中山竜次ノ意見書送付ノ件

附属書 二月八日付中山交通部顧問ヨリ在中国芳沢臨時  
代理公使宛右意見書

機密第六一号

大正六年二月十四日

(一月二十六日接受)

在支那

臨時代理公使 芳 沢 謙 吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

支那鉄道借款ノ根本方針ニ閥スル件

本件ニ關シ今般交通部顧問中山竜次ヨリ本官手許マテ別紙  
之通り意見書提出致候處右ハ當國鉄道政策ヨリ延テ我将来  
ノ対支政策ニ關スル重要參考資料ト相認メ候ニ付同写表通  
茲ニ及御送附候間御查閱相成度此段申進候也

(附属書)

追窮シタルニ直チニ南昌ニ赴キ其筋ノ者共協議ノ上何分ノ  
回答ニ及フベキ旨申出タル由而シテ談偶省ノ外債利子保証  
ノ問題ニ及タルニ外債利子保証ノ件ハ先年中央政府ノ命令  
ニ依リ省ニ於テモ之レヲ実施シタルモノニシテ既定ノ成案  
ナルヲ以テ直チニ省ノ予算ニ編入スヘキモノナルヲ省長ガ  
今回省議会ニ諮詢案トシテ之レヲ提出シタルハ抑モ違法ナ  
ルヲ以テ當時省長ニ勧告シタル事アリ又自身カ北京ニ赴ク  
迄ノ議会ハ本案ニ協賛ヲ与フル形勢ニアリシカ滯京中俄然  
否決シタルハ意外トスル所ニシテ直チニ中央政府ニ對シ其  
否決ノ違法ナルヲ陳情シタルニ中央政府ニ於テモ公司側ノ  
主張ヲ至当ト認メ居ル由外債利子保証及貨股貨捐徵收ハ客  
年限リ停止スル旨省議会ニ於テハ決議シタルモ省長ニ於テ  
ハ未タ之レニ協賛ヲ与ヘタル形跡モナク且ツ之レヲ發布セ  
サルヲ以テ各商帮ハ至急公表方ヲ請願シツ、アリ果シテ如  
何ナル結果ヲ見ルヘキヤ茲暫クハ疑問ニ屬シ候猶ホ伝聞ス  
ル所ニ拠レハ省議会本案否決ハ現省長排斥ヲモ加味シ居ル  
トノ事ニ有之候

大正六年一月八日附中山竜次ヨリ芳沢臨時代理公使宛意見書  
支那鉄道借款ノ根本方針ニ閥スル件

支那鉄道借款契約ノ大綱ニ閥スル建議案ハ過般交通會議ニ  
於テ參事司長等ニ依リテ提出セラレ本會議ヲ通過シ直ニ交  
通總長ニ建議セラレタリ察スルニ本件ハ将来ニ於ケル支那  
鉄道借款ノ根本方針ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキ性質ノモ  
ノナルヲ以テ其全文ヲ訳シ別紙参考ニ供ス

從來支那ニ於ケル借款鐵道ノ内幕ハ該建議案ノ前提ニ於テ  
多年經驗ヲ有スル當局者カ自白スル如ク外國ノ為メニ或ハ  
利益ヲ以テ誘惑セラレ或ハ威力ヲ以テ強迫セラレテ成立シ  
タルモノ比々皆ナ然ラサルハナシ而シテ其借款契約ニ対シ  
テハ支那政府ニ確定セル標準方針ナカリシ為メ其結果ハ技術  
上及經營上何等統一スル所ナク提案者ノ所謂「徒ニ債權  
國ノ勢力及經濟上ノ競争ノ焦点トナリ」タルノ觀アルノミ  
ナラス鐵道事業ノ經濟ハ極メテ不良ニシテ十數省余ノ線路  
中収支相償フハ僅ニ三四線ノミニシテ其他ノ線路ハ悉ク損  
失ヲ蒙ムリツ、アルノ状態ナリ故ニ提案者ノ所謂「有識者  
ヲシテ鐵道ノ破産及鐵道亡國ノ憂ニ堪フル能ハサラシム云

々」トハ決シテ誣言ニアラサルヲ知ル可シ

支那ニ於ケル借款鉄道ノ方針及經營ノ状態今日ノ如クナル時ハ之カ為メ将来ニ於テ最モ重大ナル悪影響ヲ蒙ルハ支那自身ヲ除イテハ蓋シ我日本ナリトス

今該建議案ヲ見ルニ借款契約ノ大綱中最モ重要ナル点ハ鉄道ノ管理権及線路ノ撰定権ヲ完全ニ支那政府ニ保留スルコト、各鉄道ヲシテ支那政府発布ノ法令ヲ一律ニ遵守セシムルコト、鉄道ニ関スル一切ノ文字ハ支那文ヲ主トスルコト、借款ハ嚴重ニ其目的タル鉄道敷費以外ニ流用セシメサルコト等ニシテ此等ノ条件ヲ嚴重ニ実行スルニ於テ始メテ支那鉄道ノ統一ヲ期シ最モ有効ニ經濟其他百般ノ進歩ニ貢献セシムルコトヲ得ヘシ

次ニ鉄道ノ管理権ヲ完全ニ支那政府ニ保留スルノ一項ハ恰カモ昨年來我国カ新ニ吉長鉄道ノ管理権ヲ獲得セントシテ今尚未交渉中ニ属スル要求ト相容レサルハ我国トシテ大ニ考慮ヲ要スヘキ点ナリト信ス若シ大勢ノ上ヨリ将来ヲ達観スル時ハ支那鉄道ノ管理権ヲ債権者ニ与ヘサルコトハ殆ト絶対的ニ日本帝国ノ為メ必要ニシテ最モ望マシキコトナリ何トナレハ今日支那ニ於ケル借款鉄道ハ既設及予定線ヲ合

計スルトキハ一万哩ニ垂ントシ其中我日本ノ資本ニ依ルモノハ僅ニ吉長線（七十九哩）四鄭線（五十余哩）及南溝線（七十九哩）合計二百十数哩ニ過キス其他ノ約一万哩ノ重要幹線ハ凡テ是レ歐米列國ノ資本ニ依リ其勢力ノ下ニ在リ列國ハ皆ナ各々ノ鐵道ヲ借款ノ抵当トシテ保留シ平素ハ技師長、會計主任及運輸主任ヲ派遣スルノ外幾多ノ自国人ヲ枢要位地ニ配置シ以テ鐵道事務ヲ支配セリ幸ニシテ現在ニ於テハ一、二ノ鐵道ヲ除クノ外ハ管理権ハ支那政府ノ手ニアルカ故ニ交通總長ノ方針如何ニ依リテハ大ニ外人ノ干渉ヲ免カルルヲ得ヘシ然レトモ尚ホ茲ニ危險ノ存在スルハ借款鉄道ノ經濟狀態ノ極メテ不良ナルコト是ナリ即チ現在借款鉄道ノ大部分ハ收支相償ハサルノ悲境ニアリ事ニ今日迄ハ借款ノ元金据置年限中ニ属スルモノ多キカ故ニ交通部ノ負担多カラサルモ大正八年度以後ニ至レハ元金償還ハ漸次増加スヘク從テ交通部ノ財政ハ極メテ困難ヲ感スルニ至ル可シ交通當局者カ今日ヨリ既ニ鐵道破産ヲ公言スルモノ蓋シ故アルナリ

果シテ然リトセハ之レカ為メ何時債権国ヨリ營業ノ依托或ハ代弁ヲ提議セストモ限ラス現ニ英國ノ如キハ京奉線ヨリハ策戦上一大齟齬ヲ来シタリトノコトナリ

生スル純益金一年五、六百万弗ヲ交通部ニ交付シ自由ニ交通部ノ使用ニ任スヘキ契約ナルニ係ラス該純益金ノ用途ニ就キ干渉セリ其口実トスル所ハ英國ノ資本ニ依リ建設シタル鉄道ニシテ津浦線ノ如キ（毎年ノ損失約三百万弗）上海南京線ノ如キ（毎年ノ損失約五十万弗）収支相償ハサル線路尠ナカラス（将来ニ於テハ南支那ニ敷設スヘキ數多ノ線路ヲモ包含セシムルナラン）即チ英國トシテハ此等収支相償ハサル借款鉄道ノ元利償還ヲ保証スルノ必要アリ故ニ京奉線ノ純剩余金ヲ他ニ担保トスル如キ場合ニハ予メ英國ノ承諾ヲ經セシムルコトトセリト謂フ是レ取リモ直サス英國カ自己ノ資本ニ依ル鉄道ニ閑シテハ契約以外ニ干渉ヲ敢テスルモノニシテ一步ヲ進ムレハ營業権、管理権ヲ獲得セントスルノ意アルモノト見做スラ得ヘシ此時ニ當テ日本ノ採ル可キ方針ハ支那ヲシテ各鉄道ノ管理権ヲ完全ニ保留シ債権國ニ与フル如キ機會ヲシテ絶無ナラシムルニ在リ

鉄道營業権ヲ債権國ニ附与スル為メ平時ニ在リテ經濟上最モ大ナル惡影響ヲ蒙ルハ謂フ迄モナク我日本ナリ又一朝有事ノ日ニ於テハ蓋シ圖ルヘカラサルノ不利アラン現ニ昨年雲南ニ其実例アリ其ハ雲南軍ガ日本ヨリ機関砲ヲ購入スル

フルモノニアラサルカ小官ハ支那鉄道ノ経済状態ニ鑑ミ大ニ憂ナキ能ハス  
要スルニ今回ノ交通会議ニテ議決セル鉄道借款契約大綱ノ建議案ハ支那ノ鉄道經營上ニ於ケル一大進歩ニシテ其実行ハ我帝国ニ取ツテ最モ望マシキ所ナリト信ス最近交通部ハ正太線及道清線ノ借款ヲ一時ニ償還シ得ルノ年限ニ達シタルヲ幸ニ別ニ内債ヲ起シテ以テ該鉄道借款ノ一時償還ヲ行ヒ管理権ヲ交通部ニ回収スルノ計画ヲ立テタル如キハ本建議案ノ实行ト見做スヲ得ヘキ力

## (別紙)

## 支那鉄道借款契約ノ大綱ニ関スル建議案

今日吾国ニ於テ国有鉄道ト称スルモノ大小十有余線アリ然レトモ其ノ中名実共ニ国有タルハ僅ニ一二ノ鉄道アルノミ其ノ他ノ各鉄道ハ名ハ国有鉄道タリト謂ヘトモ其ノ実ハ寧ロ半国有鉄道ト謂フヘキノミ否半国有ト称シ得ルモノハ全線路ノ半数ニモ及ハサルノ状態ニアルハ鉄道当事者ノ夙ニ知ル処ナリ此等ノ十有余ノ半国有鉄道ヲ統一シ以テ我カ国交通政策タル鉄道国有主義ヲ貫徹セントスレハ負債ヲ巨額ナラシメ重キ利息ヲ負担スル等幾多ノ犠牲ヲ払ハサルヘカ

ラサルハ蓋シ当然ノ結果ナリ顧ルニ吾国ノ鉄道ニ在リテハ未タ統一ノ用語ナク統一ノ規則ナク統一ノ設備ナシ職員任命ノ権ヤ重大ナリ然カモ往々ニシテ吾国ノ自由ニ職員ヲ進退スルコト能ハス運賃制度権ヤ重大ナリ然レトモ往々ニシテ吾国ノ自由ニ之ヲ制定スルコト能ハサルヲ如何セソ若シ夫レ技術ニ関シテハ鉄道建築ノ方式ハ未タ画一セス材料用品ハ各線路其ノ式ヲ異ニススクリノ如ク統一ヲ欠ク所ノ十数線ノ国有鉄道ハ徒ニ債権国ノ勢力及經濟上ノ競争ノ焦点トナリ而シテ我ハ僅ニ其ノ枝葉ヲ治ムルカ為ミニ一規程ヲ制定シ一命令ヲ發布セルモ実力ノ足ラサルカ為メ除外例ハ原則ヨリモ多キノ奇觀ヲ呈スルコト能ハサルヲ恐ル嗚呼亦難カラスヤ既往ハ已ムヲ得サルモ将来ハ改メサルヘカラス今ニ及シテ後日ノ計ヲ為サルトキハ他日ニ至リ今日ヲ顧ル恰モ今日ヨリ昔日ヲ視ルカ如キモノアラン依テ吾人ハ茲ニ将来ニ対スル根本的救済策ヲ立テントス何ソヤ曰ク鉄道借款ノ大綱是ナリ

吾国今日ノ國民經濟ノ程度ハ如何、投資力ハ如何、信用ノ程度如何、金融市場ハ如何又今日吾国ニ於テ社會百般ノ發

達、文明ノ進歩、經濟ノ發展及国防並軍事上ニ於テ鉄道ノ開通カ如何ニ重要ナル關係ヲ有シ且必要ナルカ以上ノ諸点ニ付研究スルニ吾国民ノ中ニハ二十年前ニ於テハ利權回収熱ニ激シ外資ヲ排斥シ或ハ鉄道ハ百ノ弊害アリテ一ノ利益ナシトノ謬説ヲ唱フル者アリタルモ現ニ於テハ吾人ハ斯クノ如キ説ヲ唱フル人ナキヲ知ル故ニ吾人ハ借款ニ依ル鉄道ノ布設ハ我カ國ノ現在及将来幾年間ハ尚避クヘカラサル事ヲ断言スルモノナリ

從來吾國ノ締結セル鉄道借款契約ノ多クハ受動的ノ地位ニアル其成立ノ動機タルヤ同シカラス或ハ利益ヲ以テ誘惑セラレ或ハ威力ヲ以テ強迫セラレ甲国既ニ契約ヲ締結スレハ乙国ハ其ノ利益ナル条件ヲ採り之ヲ利用シテ自己ノ契約ヲ作リ乙国ノ契約既ニ締結スレハ丙国即チ其特殊利益ノ条項ヲ採リ更ニ利益ヲ拡張シテ自己ノ契約ヲ作リタリ甚シキニ至ツテハ或者ハ本契約ノ外ニ更ニ所謂秘密条件ナルモノヲ附帶セシメ或者ハ普通契約ノ外ニ更ニ列車運転ニ関シ代弁ヲ為スモノアリ其契約実ニ干差万別ナリ是其當時吾国ハ毫モ一定ノ政策ヲ有セス孰レカ枝孰レカ幹タルヤ漠然トシテ主義モ無ク又主張モ無ク從テ標準トナスヘキ契約大綱ナキ

## 鉄道借款契約大綱

一、名称 某年中国有某鉄道借款

二、用途 某地ヨリ某地ニ至ル鉄道敷設ノ経費ニ専用シ他ノ用途ニ使用スルヲ得ス

三、線路 中国政府ニ於テ自由ニ之ヲ撰定ス

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四五一

四四〇

四、年利 五分ヲ超ユルヲ得ス  
五、実収 諸費用ヲ除キ最低額ハ百分ノ九十以上トス

六、担保 本鐵道ノ財産及其收入ヲ以テ担保トス若シ全鉄道開通後ニ至シテ元利支払ニ不足ヲ生シタルトキハ政府ハ別ニ償還ノ方法ヲ講ス

七、年限 三十ヶ年ヲ超ユルコトヲ得ス全鐵道開通以後第一年ヨリ元金ノ償還ヲ開始ス

八、管理權 完全ニ中国政府ニ属ス

九、法令 中国政府發布ノ鐵道ニ閔スル法令ヲ一律ニ遵守スヘシ

十、任用 借款期間内ニ於テハ借款会社ノ推薦ニ依リ債權國ヨリ一人ノ会計主任ヲ任用スルコト

十一、文字 鉄道ニ閔スル一切ノ文書ハ支那文ヲ以テ主ト為ス外國文ヲ用フルノ必要アルトキハ必ス英文ヲ用フヘシ

十二、預金 借款金及鐵道收入金ハ中国政府ニ於テ指定銀行ニ隨時預入払出等ヲ為スモノトス

十三、貨幣 元金ノ償却及利息ノ支払ハ中国政府ニ於テ借款貨幣ノ本位ニ照シ交付ス

十四、債券ノ發行 契約書中ニ於テ債券ノ發行回数及其期日ヲ協定シ置クヘシ若シ其期日ニ至ルモ予定ノ債券ヲ發行シ能ハサルトキハ原契約ハ即時取消スモノトス其既ニ發行セル債券ハ実収額ニ照シ政府ヨリ償還ス

十五、余利 運転収入ヨリ營業支出、借款ノ利子及從來ニ於ケル欠損ノ補填ヲ扣除シ尚余アルトキハ法定積立金ヲ為シ残額ノ二割以内ヲ債權者ニ分配ス

十六、材料 鉄道材料ノ採掘及購入ハ中国政府ニ於テ之ヲ行フ工事期間内ニ於テ外國材料ヲ購入シタル時ハ取扱費トシテ原価（運賃関税保險等ヲ除ク）百分ノ五ヲ給与ス

十七、元利支払ノ費用 百分ノ二・五ヲ給与ス

十八、附件 原契約規定条件ノ權利義務ニ閔シテ增加、抵触、或ハ変更スルヲ得ス

四五二 二月二十三日 在九江河西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛（電報）  
南潯鐵道公司ノ外債利子保証稅徵收停止及國有ノ省議會決議ニ對スル公司側ノ善後策並東

亞興業利子未払ニ閔スル件

第一号

ベク省長ニ嚴命シタリト一月二十二日台灣銀行ニ返済スペキ五万両ノ臨時借款ハ一ヶ月ノ延期ヲ申出デタリ  
公使ニ転電シタリ

四五三 三月一日 在九江河西領事代理ヨリ

本野外務大臣宛（電報）  
南潯鐵道広東迄米國資金ニテ延長計畫説並東

亞興業ニ利子支払延期ニ閔スル件

第三号

台灣銀行ノ探聞スル所ニ拠レハ李盛鐸及在北京江西出身官民ハ南潯鐵道ノ根本整理トシテ廣東迄線路延長ヲ計畫シ其資金二千万弗ヲ米國ヨリ借入ル、コトニ内議調ヒタリトノコトニ付三月一日成田劉協理ニ面晤ヲ機トシ内探セシメタルニ未タ事實トシテ認ムベキ筋ナキモ北京ニ於テハ通惠公司ヲ主トシ之ニ閔シ何等カ企圖スルコトナキヲ保セス当地ニ於テハ事実確カヌ難キニ付北京ニ於テ探聞セラル、様致シタシ

東亞利子仕払延期ニ閔シ財政廳長ノ保障ハ公司側ト董事側ノ一致ヲ以テ申請スルニ於テハ絶対ニ拒絕セズトノ序長ノ意見ナルヲ以テ公司ハ目下董事側ニ商議中ナリ

東亞利子支払ハ未ダ履行セラレズ公司ハ外債利子保証稅ヲ担保トシ延期ヲ申込ム意図ナルガ如ク目下成田ノ来江ヲ待チ居レリ

財政部ヨリ右税ハ之ヲ廢止セズ寧ロ充実スル迄ノ税ヲ徵ス  
担保トシ延期ヲ申込ム意図ナルガ如ク目下成田ノ来江ヲ待チ居レリ

右東亞ニ転電アリタシ  
北京公使転電済

四五四 三月二日

本野外務大臣ヨリ  
在中国芳沢臨時代理公使宛(電報)

南潯鐵道延長資金米國ヨリ借入説ノ真偽突止

方訓令ノ件

第一七一号

本大臣宛在九江領事代理發電第三号米國筋借款ノ件真偽ヲ  
禁止メ回電アリ度シ

四五五 三月九日

在九江河西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

南潯鐵道公司ノ東亞興業ニ対スル利子及台銀

ニ対スル臨時借越ノ支払延期ニ閔シ東亞ノ意

向問合ノ件

第四号

南潯鐵路ノ東亞ニ対スル利子及台灣銀行ニ対スル臨時借越  
支払延期申出ノ件ハ前電ノ通リナルカ三月八日劉協理本官

ヲ來訪懇願スル所ニ依レハ東亞利子延期ノタメ財政厅ノ保  
障ヲ得ル件ハ董事會ノ同意ヲ得目下幸ヒ財政厅長北京財政

第三〇七号

在支那

臨時代理公使

芳 沢 謙 吉(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵道米國借款ノ風説ニ閔スル件

貴電第一七一号南潯鐵道米國筋借款ノ件船津ヲシテ夫レト  
ナク交通部當局ニ問合ハサシメタル所全然之ヲ否認シ居リ  
タル由ニ付本月九日更ニ同人ヲシテ李盛鐸(李ハ先日來天  
津ニ赴キ今日迄不在ナリシ為延引シタリ)ニ尋ネシメタル  
所李ハ表面今尚總理ノ地位ニ在ルモ其実近來該鐵道ノ實務  
ニ關与セサルヲ以テ最近ノ事情ヲ承知セサレトモ過般該鐵  
道董事會ノ不注意ニテ通惠公司ヲシテ全然株主ノ地位ヲ獲  
得セシムルニ至リタル結果或ハ孫多森等ガ何等力計画シ居  
ラズトモ限ラズ數日前孫カ上海ニ赴キタルハ或ハ之ニ関係  
スル所アルヤモ計リ難シ何レ内債ノ上報告スヘシト答タル  
由、委細郵便

九江ヘ転電セリ

四五七 三月十日

在中国芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛

南潯鐵道ノ米國筋ヨリノ借款説ニ閔シ查報ノ  
件

機密第八五号

(三月十七日接受)

大正六年三月十日

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四五七

二十八日ノ期限ナルカ金策ナク使用残リノ「レール」ヲ売  
リテ返済スヘク董事會ノ同意ヲ得タルモ公司ノ財産ヲ動ス  
ニ於テハ東亞ノ同意ヲ要シ之ヲ成田ニ計リタルモ成田ニ於  
テハ東亞利子支払ノ方法モ立タサルニ斯カル要談ニ応シ難  
シト拒絶セラレ若シ処理行ハレサルトキハ台灣銀行トノ契  
約ニ基キ日々収入ヲ差押ヘラレ旬日ナラスシテ營業停止  
破産ノ苦境ニ陥ルヲ以テ本官ノ助力ニ依リ東亞ノ同意ヲ得  
且其ノ間東亞ヨリ台灣銀行ニ対スル延期ノ助力ヲ仰キタシ  
ト申出タリ要スルニ公司昨今ノ実況ハ孤立ノ姿ニシテ省長  
及董事會ノ援助ヲ得ル能ハス根本解決ヲ見ル迄ハ金策ノ途  
ナクスカル際ニ於テ我債權ヲ強要スルトキハ勢破産ノ外ナ  
カルヘシト思考ス就テハ之ニ対スル東亞ノ意図御回示アリ  
タシ

四五六 三月十日

在中国芳沢臨時代理公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

南潯鐵道ノ米國筋ヨリノ借款説ニ付交通部當

局否認並李盛鐸談話ノ件

南潯鐵道ハ廣東迄延長ノ計画ヲ為シ同時ニ米國ヨリ一千萬  
弗ノ借款協議中ナリトノ風説アル趣在九江領事ヨリ電報ア  
リタルニ付取調方御電訓之趣敬承早速船津書記官ヲシテ交  
通部當局ニ夫レトナク問合ハサセタル處全然之ヲ否認シタ  
ル由ニ有之候ホ同書記官ヲシテ該鐵道總理李盛鐸ニ尋ネ  
シメタル処大要左ノ通内話シタル由ニ有之候

南潯鐵道ハ全通後最初一ヶ月ノ収入約壹万五千弗位ニ過  
キサリシモ近來漸次增加シ三万弗内外ニ達シ将来尚ホ増  
加ノ見込アリテ現在ノ營業費ヲ支弁スルニハ充分ナリ然  
シ該鐵道ハ負債ノ元利償却ノ為年額約六十万内外ヲ要シ

此内約其半額丈ヶハ地方特別稅ニテ支出ノ道アルモ尚三  
十余万ノ不足ヲ生スルヲ以テ該鐵道ハ根本的整理ノ方法  
ヲ講スル必要アリ省議会ニ於テハ其救濟ノ方法トシテ國  
有請願案ヲ国会ニ提出セシモ未タ何レトモ決シ居ラス自  
分ハ總理ナルモ董事會ノ不統一及省議会等ノ不条理ナル

批難モアリ該鐵道事業ノ進行中々困難ナルヲ以テ屢々辞任シタルモ未タ許可セラレス切リニ自分ニ向テ江西ニ来ランコトヲ要求シ来ルモ北京ニ於ケル要務ノ都合上自分ハ之ヲ放棄シ居レリ然ルニ最近同鐵道董事會ハ自分ニ何等ノ相談ナク通惠公司ニ向テ代表者ヲ派遣センコトヲ要求シタル由ニテ同公司ニテハ早速之ヲ派遣シタル由ナルガ元來昨年南潯鐵道力財政部ヨリ無利子ノ金約六十萬弗ノ一時立替ヲ得タルガ右ハ表面通惠公司ノ名義トナリ居ルモ単ニ一時立替ト云フニ過キスシテ通惠公司ノ南潯公司ニ対スル地位ハ未タ純然タル株主ト云フ訳ニ非リシ然ルニ前述ノ如ク董事會ヨリ代表者ノ出席ヲ求メタル為通惠公司ニテハ早速之ニ応シ今ヤ明確ニ株主同様ノ地位ヲ認メラル、ニ至リ通惠ハ今後南潯ノ事業ニ閔シ万事干与下広東迄延長ノ計画ヲ為シ居ルヤ或ハ米国資本ノ借入ヲ計画シ居ルヤ否ヤ此等ニ閔シ今日迄未タ何等聞ク所ナキモ元來通惠公司ノ首脳連ハ周學熙、孫多森、李士偉等ニシテ何レモ皆秘密主義ヲ取り就中孫多森ノ如キ自己ノ仲間以外ニ対シテハ下ラヌ事迄容易ニ打明ケサル方ナレハ

ガ元來昨年南潯鐵道力財政部ヨリ無利子ノ金約六十萬弗

前述要點ハ往電第三〇七号ヲ以テ不取敢及報告置候得共為念重ネテ右及報告候也

本信写送付先 在上海總領事代理

在九江領事代理

四五八 三月十三日 本野外務大臣ヨリ

在上海原田總領事代理宛(電報)

#### 南潯鐵道米國筋借款說ニ閔シ孫多森ノ行動突止メ方訓令ノ件

第一八号

在九江領事代理ヨリ転電スヘキ本大臣宛同領事代理發電第三号南潯鐵道米國筋借款ノ件真偽突止方在支代理公使ニ電訓シ置キタルニ之亦同領事代理ヨリ転電スヘキ本大臣宛同

代理公使發電第三〇七号ノ通リ同代理公使ヨリ來電ノ次第モアリタルニ付篤ト孫多森ノ行動ニ対シ注意ヲ加ヘラレ同人力貴地ニ赴キタル用向ハ果シテ本件借款ニ閔スル義ナルヤ真相突止メ當方北京及九江へ電報アリタシ右北京九江へ参考ノ為転電アリタシ

四五九 三月十九日 古市東亞興業株式会社社長ヨリ

#### 南潯鐵道公司借款利子支払ニ閔スル東亞興業

今後ノ措置振二付答申ノ件

附屬書 大正五年八月二十日付古市東亞興業株式会社社長ヨリ小池政務局長ニ提出シタル文書  
南潯鐵道公司統借ニ閔スル件

謹啓南潯鐵道公司借款利子支払ニ閔シ當会社今後ノ措置振ニ就テ意見開陳可致旨本月十三日附ヲ以テ御申聞ノ趣敬承左ニ答申仕候  
南潯鐵道ハ昨年六月ヲ以テ九江南昌間全通致候得共其營業狀態ノ不良ナルハ蓋シ一般鐵道ト共ニ創業時代ニ於テ免力レ難キ所ニ候李盛鐸氏該公司總理ニ就職以來銳意營業費ノ節約ヲ圖リ同時ニ營業收入亦幾分カ增加ノ傾アル如ク相見

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四五九

彼等カ如何ナル事ヲ計画シ居ルヤ外間ニテ之ヲ知ルコト極メテ困難ナリ最近孫ハ上海ニ出張シ居ル由ナレハ何等計画シ居ルヤモ計リ難シ又仮リニ外資ヲ借入ル、ニシテモ決シテ南潯公司ノ名義ヲ用ヒサルヘシ彼等ハ通惠公司ノ機関銀行トシテ中孚銀行ナルモノヲ有シ居ルヲ以テ同銀行ヲ利用スルコト、ナルヘシ兎ニ角心当リノ方面ニ就キ内債ヲ遂グベシ云々

前述要點ハ往電第三〇七号ヲ以テ不取敢及報告置候得共為念重ネテ右及報告候也

本信写送付先 在上海總領事代理

在九江領事代理

四五八 三月十三日 本野外務大臣ヨリ

在上海原田總領事代理宛(電報)

南潯鐵道米國筋借款說ニ閔シ孫多森ノ行動突止メ方訓令ノ件

第一八号

在九江領事代理ヨリ転電スヘキ本大臣宛同領事代理發電第三号南潯鐵道米國筋借款ノ件真偽突止方在支代理公使ニ電訓シ置キタルニ之亦同領事代理ヨリ転電スヘキ本大臣宛同

ハ候モ猶ホ未タ收支相償フニ至ラス從テ營業收入ノミヲ以テ借款ノ利息迄ヲ支払フコトノ不可能ナルハ申ス迄モ無之結局他ヨリ大ニ補助ヲ受ルノ必要アルハ明カナルコトニ候尤モ之力為メ設ケタル貨股貨捐徵收ノ制ハ即國家ノ補助タルニハ相違無之候得共其性質ニ就テ議スヘキ点有之候ノミナラス金額モ亦公司ノ窮乏ヲ救フニ足ラス現ニ昨年十二月支払期限ニ属スル利息ヲ短期借款ニ改メ六ヶ月ノ延期ヲ請求シ来リ居候始末ニ有之候

南潯鐵道公司ノ現狀右ノ如クナル場合ニ於テ九江領事代理來電ノ軌條ヲ売却スルノ議ニ漫然同意シ或ハ台灣銀行ニ對シ公司ノ債務ヲ保証スルカ如キハ到底應諾難致儀ニ有之候乍去徒ラニ公司ヲ苦マシムルハ當会社ノ本意ニアラサルコト勿論ニ候ヘハ該軌條賣却或ハ台灣銀行ニ對スル當会社保証ノ代價トシテ新タナル担保物件若クハ相當条件ヲ公司ヨリ提供シ来ルニ於テハ協議ヲ試ムルノ余地可有之ト被存候傍右ノ方法ニ依リ當会社ニ對スル利息及台灣銀行ニ對スル債務ノ支払ヲ一時延期スルモ其期限ニ到リ果シテ決済ヲ得ヘキヤ現状ヲ以テ推移スルニ於テハ是亦全ク不可能事ト被認候結局斷然タル処置ニ出テ根本的解決ヲ企テサレハ該

鉄道ヲシテ難境ヨリ救出スルコトハ到底難望儀ト存候元來該鉄道ハ殆ト全部借款ヲ以テ建設シタルモノニ候ヘハ其利息ハ普通ノ私設鐵道会社ニ於ケル株金ノ配当ニ該當ス南潯鐵路公司ノ現状ヲ以テ此配当ヲ為スニ至ラシムルコトハ殆ト絶望ニ属スルモノト言フノ外無之候該公司ヲシテ相当ノ配当ヲ為スニ至ラシメントスルニハ該公司ノ線路ヲ大ニ拡張スルノ外策アルナシ即南昌ヲ中心トシテ江西省ノ各方面ニ展開スヘキ線路ノ敷設ヲ俟テ始メテ目的ヲ達スヘキ儀ト存候南潯鐵路公司ヲ救フノ策ニ茲ニ存スルヲ確信シ既ニ

公司当局者其他ニ対シ懇々忠告ヲ致シタルコト一再ナラス猶ホ今後モ勸誘ヲ怠ラサル覺悟罷在候頃日伝聞スル所ニ依レハ北京ニ於テ関係者相会シ先ツ南昌ヨリ贛州迄延長ノ計画ヲ企テタル由南潯鐵道拡張ノ第一着トシテハ誠ニ穩當ノ考案ニ有之候間是非其実行ヲ見ルニ至ラシメ度存候此目的ヲ達スル為メニハ政府ニ於カセラレテモ十分ノ御援助ヲ賜リ候様切望仕候右御配慮相仰キ度如此候 敬具

大正六年三月十九日

東亞興業株式会社

社長 古 市 公 威(印)

(附屬書) 大正五年八月二十日附古市東亞興業株式会社社長ヨリ小池政務局長ニ提出シタル文書

外務省政務局長 小幡西吉殿

追テ別紙ハ昨年八月小池前政務局長ニ提出シタル卑見ニ有之候統借ノ件ハ其後沙汰止ト相成候モ御参考迄差出候御一覽ヲ得ハ本懷ノ至ニ候

南潯鐵路公司統借ニ闢スル件

東亞興業株式会社カ南潯鐵路公司ニ貸付シタル金額ハ大正三年七月迄ニ七百五拾万円ニ達シタルモ猶ホ不足ヲ告ケ昨年更ニ統借ヲ交渉シ来リタルニ當時支那政府ハ之ニ反対シ新ニ通惠公司ナルモノヲ成立セシメ該公司ヲシテ南潯鐵道ノ大株主タランメ之ヲ整理セシメントンタリ然ルニ此計画ハ全ク不績ニ終リタルヲ以テ茲ニ再ヒ東亞興業会社ハ南潯鐵路公司ヨリ統借ノ内談ヲ受クルニ至レリ而シテ其金額ニ就テハ未タ精確ノ数字ヲ得サルモ概算スルニ材料費工事費ノ未払金其他一時ノ借入金等ニテ五、六拾万円、線路ノ補充工事、停車場ノ建築其他ノ設備費ニシテ約參拾万円、

東亞興業会社ニ支払フヘキ利息約五拾万円ハ目下緊急必要ニ鉄路公司ハ袖手シテ自滅ヲ待ツカ或ハ他ニ借款ノ計画ヲ立テ東亞興業会社トノ契約ニ拠リテ承諾ヲ求メ来ルカニ者ニ出テ斯後者ノ場合ニ於テハ東亞興業会社ノ承諾ヲ与ヘサルコト固トヨリ言ヲ俟タサル所ナリ斯ノ如ク東亞興業会社自身ハ統借ニ応セス又他ヨリノ借款ニ対シテモ承諾ヲ与ヘサルトキハ單ニ此儘歲月ヲ経過シテ二箇年ノ後即チ鉄路公司カ東亞興業会社ニ対シ利息ノ支払ヲ怠ルコト四回ニ及ヘル時ニ至リ東亞興業会社カ契約ニ拠リ自ラ鉄道ヲ管理スルニ至ルノ外ナシスル経過ノ下ニ得タル管理權ハ甚タ厄介ナルモノニシテ常ニ紛擾ノ絶ヘサルコトヲ覺悟セサルヘカラス紛擾ノ絶ヘサル猶ホ可ナリトスルモ經濟上如何ナル結果ヲ來スヘキカヲ慮ルニ依然トシテ今日ト同様ニ營業収支償ハス利息支払ノ不能ヲ免レサルヘキヤ必セリ故ニ今日ノ場合ニ於テハ寧ロ我ヨリ進ンテ彼ヲ援助スルノ策ヲ講シ遂ニ鉄道ヲシテ相当ノ成績ヲ挙ルニ至ラシムル順序ニ向テ進ムヲ適當ノ処分法ナリト認ム即チ或ル条件ノ下ニ統借ノ請求ニ応スルヲ可トス

營業狀態ノ悲境ニ在ルハ前述スル如クナレトモ其改善モ固見甚タ無謀ノ如クナルモ之ヲ拒絶シタル結果如何ヲ考フルカ故ニ本年六月東亞興業会社ニ支払フヘキ利息金貳拾四万余円之調達ノ途無ク東亞興業会社ニ対シテ延期ノ申込ヲ為シ遂ニ之ヲ短期ノ借款トナスニ決シタリ而モ其期限ハ来ル九月末ニシテ期限ニ到ルモ依然支払不可能ナルコト明カナリ

右ノ如キ場合ニ統借ノ請求ニ応シ借款金額ヲ増加スルハ一見甚タ無謀ノ如クナルモ之ヲ拒絶シタル結果如何ヲ考フル

シ割合三高キニ失スル如シ節減ノ余地アルコト勿論ナリ而シテ収入増加ノ手段トシテハ営業ノ方法ニ於テモ將々設備ニ於テモ旅客ノ招致、貨物ノ吸收上改善施設スヘキモノ尠ナカラス故ニ若シ適當ノ管理者ヲ得レハ今日ノ如キ窮状ヲ脱スルハ蓋シ難事ニアラサルヘシ然レトモ借款ノ利息迄モ完全ニ支払ヒ得ルニ至ルハ恐ラク猶ホ數年ノ後ナラン故ニ目下ノ応急策トシテハ曾テ通惠公司カ要求シタルコトアリト聞ク所ノ如クニ地方若クハ中央政府ヲシテ利息支払ニ対スル不足額補給ノ責ヲ負ハシムルニ在リ鉄道ノ創設ニ當リ政府又ハ自治体ヨリ補助ヲ受クルノ例ハ吾國ニ於テ見ル所ナリ然レトモ斯ノ如キ状態ハ永久ニ継続スヘキ性質ノモノニアラス結局南潯鐵道独立ノ策ハ別ニ講究スル所ナカルヘカラス

由來南潯線ハ主府南昌ニ集中スル六大線（南京線、杭州線、油頭線、韶州線、長沙線、及武昌線）ヲ長江ニ連絡スル唯一ノ線ナリ将来若シ此六大線ニシテ開通ヲ見ルニ至ランカ南潯ハ實ニ利益多大ナル有数ノ線トナルヘキコト敢テ言フヲ須キス是レニ因テ観レハ以上ノ六大線即チ營養線ノ速成ヲ期スルコト南潯線ヲ輔クルニ最モ有効ノ手段ナリト

四六〇 三月二十七日 在中國林公使ヨリ

本野外務大臣宛

南潯鐵道米国借款説ニ閔シ新聞記事及李盛鐸

談話要領報告ノ件

機密第一一〇号

（四月一日接受）

大正六年三月廿七日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助（印）

外務大臣法學博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵道米国借款ニ閔スル件（統報）

本件ニ閔シテハ曩キニ三月十日附機密第八五号拙信ヲ以テ縷々報告ノ次第有之候処其後三月廿六日ノ當地漢字新聞ニ

万弗ノ借款ヲ起スコトニ閔スル記事有之候ニ付不取敢公信第一〇九号ヲ以テ右及訃報置候得共更ニ船津書記官ヲシテ

李盛鐸ニ確カメシメ候処同人ハ已ニ辞任ヲ申出テ未タ許可セラレサルモ實際ニ於テハ何等該鐵道ノ事務ニ閔与セス隨

テ最近該鐵道ノ状況ヲ承知セサルモ前記新聞記事中ニ在ル李柏、譚長年ハ先般財政部ヨリ該鐵道実況視察ノ為派遣セ

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四六〇 四六一

ス即チ南潯線ノ獨立策是ニ存ス故ニ此際少クモ右六線ノヲ南潯線ノ延長トシテ敷設スルノ計画ヲ立テシメ而シテ其所要資金ヲ我ニ求メシムルコト必要ナリ六大線ノ中第一ニ着手スヘキ線ハ杭州線ニシテ其開通ハ江西ノ運輸状態ヲ一変シ鐵道ニ好影響ヲ來スコト疑ヲ容レス尚ホ運炭鐵道ニシテ其敷設ノ有益ナルモノアルモ他日ノ計画ニ譲ル以上述フル所ニ依リ南潯鐵路公司統借ノ請求ニハ左ノ二条件若ハ其一ヲ得テ之ニ応スルヲ可トス

一、南潯鐵路公司ヲシテ杭州、南昌線敷設ノ許可ヲ得案スヘシ然レトモ本件ハ強テ之ヲ主張セス单ニ要所ニ一、二ノ邦人ヲ置クニ止メテ可ナリト認ム

尚他ニ此際東亞興業会社ニ於テ営業ヲ代弁スルコトヲ提

案スヘシ然レトモ本件ハ強テ之ヲ主張セス单ニ要所ニ一、二ノ邦人ヲ置クニ止メテ可ナリト認ム

以上

大正五年八月二十日

シムルコト

古市公威

機密往信第一二号 在九江河西領事代理ヨリ

本野外務大臣宛

南潯鐵道延長ニ閔スル同鐵路公司営業科長内

話等報告ノ件

（四月十一日接受）

在九江

領事代理副領事 河 西 信(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵路延長ニ閥スル件

南潯鐵路公司現當業科長張毅（日本留学生出身）ノ内話ニ

拠レハ近頃北京方面及今回北京ヨリ帰任シタル江西財政厅

長ノ消息ニ依レハ南潯鐵路ノ根本問題トシテハ現鐵路ヲ延

長シテ營養線ヲ敷設スルニアリト一決シ其延長ノ線路及資

金借款方法等ニ関シテハ未タ具体的ニ聞知セサルモ要スル

ニ之レカ解決ノ為メニハ株主及江西省有力者ヲ北京ニ召集

シテ大会ヲ開クニ至ルベク從シテ來ル十日南昌ニ於テ開会

ヲ宣言シタル株主大会モ不得要領ニ終リ畢竟代表者ヲ北京

ニ派遣スルコトトナルベシト

尚ホ伝聞スル処ニ依レハ江西財政厅長北京會議ニ出張中南

潯鐵路外債利子保証ニ對スル徵稅ハ確實ノ財源ヲ得ル為メ

特ニ專任徵稅官ヲ設ケ從来ノ偏頗ノ徵稅法ヲ改メ一般ニ普

及セシメ人民ノ反抗ヲ避クル方法ヲ採ルコトニ財政部ト協

議ヲ為シタリト云フ

敬具

右伝聞ノ儘及具報候

約並東亞興業ニ対スル債務支払契約ニ閥スル

南潯鐵路公司ノ台銀ニ対スル債務支払延期契

四六二 四月三日 在九江河西領事代理ヨリ

本野外務大臣宛

写送先 在支那公使

機密往信第一号

(四月十一日接受)

大正六年四月三日

在九江

領事代理副領事 河 西 信(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵路公司債務ニ閥スル件

南潯鐵路公司ノ東亞興業会社ニ対スル利子及台灣銀行ニ對スル臨時借越仕払延期方懇請ノ件ニ閑シテハ去月九日往電第四号ヲ以テ東亞興業会社ノ意向御回示方申進タル次第モ有之候處其後台灣銀行ニ於テハ此際姑息ノ延期ヲ与フルヨリハ契約ニ基シキ日々ノ收入ヲ押收スル時ハ却テ解決ヲ迅速ナラシムル弁法トシ收入ノ押收ヲ強行致居候處斯クテハ

内ニハ結末相付候事ト存候

右不敢及具報候 敬具

写送先 在支那公使

(附屬書)

南潯鐵路公司ノ台灣銀行ニ対スル債務支払延期契約写

合 同

立延滞欠款合同南潯鐵路公司前因借用

台灣銀行ニ赴キ從來台灣銀行カ鐵路公司ニ尽シタル好意ニ対シ其実情ヲ開陳シ之レカ弁法ヲ懇請シタル結果董事會ニ

於テモ漸ク公司側ノ提議ヲ容レ董事ノ一人ナル袁秋舫ヲ九江ニ派遣シ公司ト商議セシムルコト、相成右袁秋舫ハ去ル

二十九日頃來潯公司側ノ実状ヲ視察シ始メテ公司ノ苦境ヲ救濟スルノ必要ヲ認メ去月三十日鐵道公司協理劉廷琦ト同

道台灣銀行ニ赴キ從來台灣銀行カ鐵路公司ニ尽シタル好意ニ対シ謝意ヲ表スルト同時ニ同公司ノ現状ヲ訴ヘ今回ハ董事會モ公司ト協力必ス債務ヲ果スヘキニ付今後一ヶ月ノ猶予ヲ得度旨申出台灣銀行ニ於テモ今回ハ董事迄モ出潯懇請

スルニ至リタルハ從來ニナキ誠意ヲ表示スルモノト認メ且

ツ事情已ムヲ得サルニ付別紙ノ如キ契約ノ下ニ延期ヲ承諾

スルコト、相成リ本日本官ニ於テモ之レニ認証ヲ与置候

東亞興業会社ニ対スル利子処理ノ件モ成田社員ヨリ頻リニ督促ノ結果江西財政厅長北京出張中李盛鐸ヨリ交渉愈ヨ財

政厅ニ於テ保証スルコトヲ承諾シ財政厅長北京ヨリ帰省ノ上相当ノ条件ヲ以テ契約訂結ノ筈ニ有之候處財政厅長モ已

二昨二日帰任相成候得共成田社員目下漢口出張中ニ付旬日

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四六三 四六四

四五二

總理 李盛鐸 協理代  
協理 劉廷琦  
坐辦 洪 鑄 協理代

中華民国六年 月 日

四六三 四月十四日 在九江江西領事代理ヨリ  
南潯鐵路公司株主大会ハ法定數ヲ欠キ談話会  
トナリタルノ件

往信第三四号

(四月二十五日接受)

大正六年四月十四日

在九江

領事代理副領事 河 西 信(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵路株主大会ニ閔スル件

南潯鐵路南昌董事局カ四月十日ヲ以テ株主大会ヲ開催スル旨公表シタル件ハ曩ニ及報告置候處其後在北京新株主(通惠公司)側ニ於テハ北京ニ於テ開會セシ事ヲ力爭シ來リ統テ在北京江西出身ノ有力者トシテ目セラル趙惟熙、鉢伝善、鏡孟任等ノ連名ヲ以テ江西省長及財政府長ニ宛四月十日先ツ引揚グル旨申出セリ

フ予定ニテ尚都合ニヨリテハ北京漢口ニモ赴ク筈御含迄右為参考北京及漢口ニ転電アリ度シ

四六五 四月二十七日 在九江江西領事代理ヨリ

南潯鐵路公司ノ東亞興業ヘノ利子支払延期ニ

対シ財政庁長保証拒否ノ件

第九号

南潯鐵路維持会代表者ハ四月二十六日北京ニ向テ出発セリ東亞ノ利子延期ニ対スル財政庁長保証ノ件ハ当省ノ事情ニ照ラシ延期々日迄ニ償還ノ見込ナキヲ口実トシ保証ヲ拒ミ之カ処置ニ閔シ財政庁長ヨリ北京財政部ニ請訓中ナルカ容易ニ解決ノ見込立タザルヲ以テ成田ハ本社ノ命令モアリ近日一先ツ引揚グル旨申出セリ

在支公使ヘ電報セリ

四六六 五月八日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛

江西省議会提出ノ南潯鐵道國有請願ハ參議院

ニ於テ受理セサル旨決議ノ件

(五月十四日接受)

本信写送付先、在九江領事

四六七 五月十一日 在上海有吉總領事ヨリ

南潯鐵道延長ニ閔スル白岩竜平報告書写送付

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四六五 四六六 四六七

四五三

日ノ大会举行延期及代表者ヲ北京ニ派遣スル様董事局ニ転達方ヲ電報シ来ルモ董事側ニ於テハ是迄屢々開会ヲ宣言シ仍ホ今回ノ大会ヲ中止スルニ於テハ董事局ノ信用ヲ失墜スルモノトナシ愈ヨ去ル十日予定ノ如ク大会ヲ開催シタルモ参会シタル株主ハ法定數ニ充タス大会ハ變シテ談話会トナリ遂ニ予期ノ議題ヲ決議スルノ能力ナク予言ノ如ク無意味ニ終リ結局北京ノ提議ニ服従シ程道存、龔梅生、黃棣齊、蕭夢自、張芝珊ノ五名ヲ北京派遣代表ニ選挙シ本会ノ散会ヲ告ケタリ

右大会ノ状況ハ別紙新聞切抜ニヨリ御承知相成度此段及具報候 敬具

写送先 在支公使

註 別紙新聞切抜省略

四六四 四月二十三日 在上海有吉總領事宛(電報)

南潯鐵道ニ閔シ白岩竜平貴地ニ向

訪問ノ件

主トシテ南潯鐵道關係ノ用務ヲ帶ヒ近々白岩竜平貴地ニ向

第三三号

大正六年五月八日 在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵道國有請願ニ閔スル件

江西省南潯鐵道ヲ國有トスルコトニ閔シ江西省議会ヨリ請願書ヲ国会ニ提出シタル次第ハ一月九日附公第四号信ヲ以テ及報告置候處參議院ノ請願委員会ハ本請願案ヲ審査ノ上元來此ノ鐵道ハ商辦事業ニ係レハ若シ辦理善カラサルニ於テハ公社ノ株主ヨリ監督實行ノ手段ヲ講スヘキモノニテ事私權ニ閔スルモノハ国会ニテ受理スヘキニ非ストノ理由ヲ以テ之ヲ受理セサルコトニ決議シタル旨ヲ報告致居候衆議院ニテモ同一ノ体度ニ出ツルモノト推測セラレ候  
右及報告候也

附屬書 五月十日附在上海白岩東亞興業取締役ヨリ吉市  
南潯社長宛報告書  
鐵道延長線ニ関スル件

機密公第三九号

大正六年五月十一日

在上海

總領事 有 吉 明(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

客月十一日発往電第八七号(在支公使宛六四号)報告南潯  
鉄道延長線ニ閑シ過般白岩竜平來滬後關係者ト交渉ノ顛末  
古市東亞興業社長宛報告書写同人ヨリ提出致候ニ付御参考  
迄及御送付候 敬具

本信写送附先 在支公使

(附屬書)

大正六年五月十日於上海

取締役 白 岩 竜 平

東亞興業会社

社長 古市 公威殿

南潯延長線ニ閑スル件

(五月十九日接受)

拝啓 小生過ル本月二日当地着後早速本件ニ閑シ其後ノ経  
過諸關係者ヨリ詳細聞取り候處大体次ニ列記致候通リニ有  
之候元来本件ノ起因ハ昨年十一月ヨリ十二月ニ亘リ発起者  
ノ一人程允菊圃ナルモノヲ吳端伯ノ紹介ニ由リ小生数回会  
見致シタルニ初マリ當時右程允ハ李烈鈞ノ使者トシテ小生  
ノ意見ヲ尋ネタル次第ニテ其要旨ハ

九江南昌間即チ南潯鐵道ハ營業意ノ如クナラス日本借款  
ノ利子支払ニ差支ヘ根本的ニ解決ヲ図ラサレハ将来維持  
ノ見込立タサルニ由リ南昌贛州間ヲ延長線トシテ廣東韶  
州ニ於テ粵漢線ト接続スルノ計画ヲ立ツルニ於テハ該延  
長線路ハ江西省中物産最モ豊富且ソ鉱物ニモ富ミ其延長  
約四百〇二哩(南昌ヨリ贛州ニ至ル二百五十九哩、贛州ヨ  
リ廣東韶州ニ至ル百四十三哩)ニシテ之ヲ南潯線ニ連絡  
スル時ハ長距離ノ(總延長約四百八十二哩)省内幹線タ  
ルノミナラス粵漢線ト接続シテ一方ハ廣東ニ於テ海ニ、  
他方ハ九江ニ於テ揚子江ニ貨客ノ呑吐ヲ為スヘク完成ノ  
上ハ利益アル線路トナルコト疑ヒナク南潯線救活ノ上ニ  
於テ此上ノ良策ナシ李烈鈞ハ之ヲ发起開辦セン考ナルモ  
資金ノ出處不明ニテハ輕々ニ着手致シ難ク因テ内密ニ見

込ヲ聞置度トノ事ニ有之因テ小生ハ從来ノ借款關係者ト  
シテ不取敢自分一個ノ見込ヲ述ヘンニ南潯線ノ救活トシ  
テハ線路延長ヨリ外ナク延長線中南昌ヨリ吉安、贛州ヲ  
経テ韶州ニ達スル線路ハ思フニ他ノ線路ニ比シ有利ナル  
モノニ属スルコト貴見ノ通リナラン若シ省ノ有力者ニシ  
テ李烈鈞ノ如キ人地方經濟ノ為ニ大局ノ見地ヨリ斯ル計  
画ヲ立テラルニ於テハ其成功モ容易ナルヘク該資金ニ  
関シテハ勿論之ヲ資本家側ニ熟商ノ上ニ非サレハ明言シ  
得ル次第ニ無之モ已ニ南潯既設線ニ対シ七百五十万円ノ  
巨資ヲ投シタル以上之力救活ノ道ヲ講スルハ資本家ノ立  
場ヨリモ絶対必要ノコトニ有之貴方ニ於テ其運動ヲ進メ  
ラル、ニ於テハ小生ハ我日本資本家ニ其成行ヲ報告シテ  
出資ノ勧誘ヲ試ムヘク我資本家側ハ多分賛同出資ヲ承諾  
スルニ至ルヘキ旨ヲ答ヘ尚ホ其借款額ハ大約二千万円ナ  
ルヘキ旨ヲモ承知致シタルニ由リ有吉總領事ニ不取敢事  
ノ次第ヲ報告シ先方ニ対シテハ小生ハ前述ノ含ヲ以テ夫  
々内談相試ミ置クヘク貴方ハ兎モ角進行ヲ試ミラルヘシ  
トノ懇談ノ下ニ

相分レタル儀ニ有之李烈鈞ハ當時病褥ニ在リテ小生直接面

一、南潯線救活ノ目的ヲ以テ独立ノ一會社ヲ組織シ南贛線  
ヲ弁理スルコト、其線路ハ南昌ヲ起點トシ吉安、贛州ヲ  
經テ廣東省韶州ニ達シ粵漢本線ニ連絡ス

二、南贛線ハ商辦會社トシ交通部ノ許可ヲ得テ成立ス其資

三、将来南潯線ヲモ本会社ニ併合スルノ希望ヲ有スルモ当分ノ内各分離シテ進行スルコト

四、本計画ニ付江西在住人士ニ対シテハ略其贊同ヲ得タルニ付発起人等ハ急ニ北京ニ赴キ參衆両院ノ江西議員団ノ會議ヲ求メ其通過ニ勉ムルコト

五、前項議員団ニ於テハ少數ノ反対者アルヘキモ多數ハ一致賛成ノ見込、多數ニテ通過ノ上ハ直ニ北京ニ於テ之ヲ發表シ発起人等ハ上海ニ帰リテ会社設立事務所ヲ開設シ同時ニ在北京両院省議員団ノ名ヲ以テ李烈鈞ヲ公請シテ總理ニ推挙シ李烈鈞之ヲ承諾其名ニヨリテ正式ニ交通部宛会社設立許可ノ出願ヲ為スコト、此手続ヲナスト共ニ一方ニ於テハ本件ヲ省議会ノ議ニ付スルコト

六、前項交通部ニ出願スル場合ハ会社設立登記条例ニ遵拠シ資本金ノ四分ノ一ノ積金ヲナシ交通部ノ検査ヲ受ケサル可ラサルニ因リ資本金額ヲ二千万円トシ其四分ノ一五百万円ナルモ資本巨額ニ上ルトキハ規程以下ニテモ差支ナキ先例アルニ付先ツ二百萬円又ハ二百五十万円ヲ東亜興業会社ヨリ借受ケ之ニ充当スルコト

此場合初メテ南贛鉄路公司ト東亞興業会社ト間係ヲ生スル次第ニテ東亞ハ相当条件ヲ以テ南贛線ニ必要ナル総資本約二千万円ヲ供給ノ予約ノ下ニ一部前渡又ハ仮渡ノ性質ヲ以テ前項資金ヲ貸渡スコトトシ其方法ハ曩ニ東亞カ広澳鉄道ニ向ツテ貸金契約ヲ為セルト略同様ノ方法ニ依ルコト

右ハ小生ニ於テ今般発起人中ノ重ナル三名（程菊圃、黃少穆、劉雲台）ト数回会晤ノ上聽取り當方意見ヲモ加ヘテ大体申合試ミタル進行方法ニ有之候果シテ此通りニ相運ヒ候ヤ否ヤ固ヨリ予測致シ難ク候ヘトモ小生ノ見ル所ニ依レハ

七、発起人等ハ頗ル熱心ニテ今月迄既ニ四五ヶ月ヲ準備ニ費シ各關係者間相當ニ意見ノ交換ヲナシ居リ李烈鈞ハ其主動者ニシテ発起人中ノ三名ハ其部下ナルモ他ノ二名ハ南昌商會議董（鄒）及ヒ銀行家（程）ニテ李ハ表面ニ立タス慎重ノ態度ヲ取リ可成党派的又ハ政治的色彩ヲ避ケ純経済上ノ見地ヨリ地方交通ノ發達ヲ主眼トシ主張ヲナシ居ルコト

八、南潯線關係者中前總理吳紹、前協理ニシテ現監查役タル羅朗山等ニ小生親シク会晤シタル所ニ由レハ彼等モ亦

此計画ノ贊同者タルコト同省督軍李純及ヒ江西出身ニシテ南潯線ノ大株主タル徐州ノ張勲等モ亦李烈鈞出名ノ上ハ相當連絡ノツク見込ナルコト

九、日本ノ資本即チ東亞興業会社ヨリ借款ヲナス事ニ付テモ思慮アル重ナル贊成者間ニアリテハ暗黙ノ間ニ意思ノ疏通ヲナシ居リ通惠公司側ニ於テ米国資本ヲ借入レ日本ヲ排斥セントスル計画アルヤノ噂ニ対シテハ袁政府時代ニ成レル同公司力特ニ安徽人ニ由リ組織セラル、同公司カスル計画ヲ有ストスルモ江西有力者ノ同意ヲ得ル能ハサルコトヲ明白ニ認メ多クノ価値ヲ之ニ払ハサルコト日本ノ対江西鉄道現借款契約ハ其条件寛大ニシテ米国ヨリ借款ヲ為ストモ其条件ハ寧ロ苛重ナルヘク想像セラル、コトモ前述理由ノ一ナラン

十、南潯現当事者即チ李盛鐸ヲ中心トスル同省京官一派ニ在リテモ本計画ノ必要ヲ認メ通惠公司側ト共同或ハ独立ニ之カ進行ヲ策セントノ下心アルハ明白ナルモ南潯ヲ基礎トシテノ發展ハ同公司ノ現状ニ照シ不可能ニシテ結局南贛線ヲ独立ノ計画トシテ發企スルヨリ良法ナカルヘク而シテ南潯ノ經營ニスラ腐心シテ何等ノ解決ヲ為シ得サ

右現当事者ハ南贛線發企ノ資格ナキ次第ナレハ李盛鐸等ハ一時或ハ自己ヲ中心トセサル延長線ノ計画ニ対シ反対スルヤモ計ラレサルモ結局何等ノ効果ナカルヘク而シテ南贛線ノ計画進行スルニ於テハ或ル時機ニ於テ兩線ヲ併合シテ一會社ニ移スノ外ナカルヘシ

右ノ如ク想察致候ニ付テハ一般局外ニ対シテハ申迄モ無之候ヘトモ李盛鐸等ニ対シテモ暫ク本件ヲ秘密ニ附シ其成行ヲ見ルコト、致度発企者ノ見込ニテハ今日ヨリ遲クモ一ヶ月以内ニ北京ニ於テ両院省議員団ノ會議ヲ通過セシメ同時ニ之ヲ發表シ前述予定ノ方針ニ依リ進行スル積リナリト申居候就テハ小生ハ特別ノ事情起ラサル限り暫ク当地ニ於テ彼等運動ノ消息ヲ待ツ方便宜ナル様相考ヘ候

右大体ノ狀況別紙關係書類添付及御報告候果シテ先方予定ノ通り好都合ニ進捗致候場合ハ我方ニ於テモ自然出資ニ対スル相當準備ヲ必要トスル次第ニ有之其辯予メ御承知置被下度候

敬具

註 別紙關係書類省略

## 南潯鐵道國有化ニ閑スル李盛鐸ノ内話報告ノ

件

第六三六号

五月十八日李盛鐸ハ船津ニ對シ南潯鐵道ハ其ノ後交通部及財政部當局ト種々協議ノ結果略国有トナスコトニ決定シタルモ現金ノ調達困難ナルヲ以テ江西商人払込ノ株金ニ対シテハ不取敢國庫債券ヲ以テ之レヲ仕払ヒ日本ノ借款ハ其ノ儘トシ之レニ對スル利子ハ從來通地方附加税ヲ以テ之レニ充ツル筈ナリ右ハ未タ確定セル次第ニアラサルモ南潯鐵道整理ノ方法トシテハ差当リ此ノ外ニ適當ナル方法ナキカ如シト語リタル趣ナリ

上海、九江へ転電セリ

四六九 六月十八日 在九江西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛

南潯鐵道國有化問題並東亞興業ヘ利子支払措置ニ閑スル件

往信第六三号

大正六年六月十八日 在九江

(六月二十六日接受)

東亞興業ニ對スル利子ニ閑スル件

東亞興業会社ニ仕払フベキ昨年下半期ノ利子不払ノ件ニ閑シテハ已ニ具報致置候處本年上期分仕払期モ切迫シタル今

帰着スルナラント想像被致候  
ナク要スルニ鐵道公司側トシテモ亦省議會其他各界ノ紳士トシテモ国有ト為スヲ希望スル処ナルヲ以テ早晚其運命ニ頓挫ヲ來シ該代表者ノ一人南昌商務總會々長龔梅生ハ南昌ニ於ケル全省商務總會連合會開期切迫シ一行ヨリ前キニ帰省シ残余ノ代表モ江西督軍李純帰任ノ際之ニ隨從シテ帰省致候右ノ有様ニテ南潯鐵道前途ニ閑シテハ未タ何等ノ成案

ナク要スルニ鐵道公司側トシテモ亦省議會其他各界ノ紳士トシテモ国有ト為スヲ希望スル処ナルヲ以テ早晚其運命ニ頓挫ヲ來シ該代表者ノ一人南昌商務總會々長龔梅生ハ南昌ニ於ケル全省商務總會連合會開期切迫シ一行ヨリ前キニ帰省シ残余ノ代表モ江西督軍李純帰任ノ際之ニ隨從シテ帰省致候右ノ有様ニテ南潯鐵道前途ニ閑シテハ未タ何等ノ成案

日鐵路公司側ニ於テモ何等カノ手段ヲ講セサル可ラサルヲ以テ同公司營業科長張毅ハ之レカ處理方ニ閑シ江西財政厅長ニ懇願シタルニ財政厅長ニ於テモ鐵路ノ現状ヲ知悉シ且ツ義ニ省議會ニ於テ議決シタル外債利子保証ノ為メ徵收スル貨股即チ附加税停止ハ中央政府ニ於テ承認セス寧ロ専任徵收官ヲ設置シ予算額即チ年六十万元ニ達スル様之レカ徵收ヲ励行スヘキ旨訓令アリ旁以テ何等カ援助ヲ与フルノ必要ヲ認め右張毅ト協議ノ結果左ノ条件ヲ以テ台灣銀行ニ借款ヲ申出候

一、金額日本金貳拾六万円也

二、借主江西財政厅

三、保証人ナシ

四、担保南潯鐵路貨股（南潯鐵路外債利子附加税）

五、返済方法毎月徵收額貳万円乃至四万円月賦償還（貨股收入ハ現在中國銀行ニテ保管シ毎月ノ收入貳万元以上四萬元ニシテニヨリ異ナルモ最低貳万元トス）

六、期間八ヶ月トス

七、利子年九分（毎月支払）

以上ノ条件ヨリ觀察セハ最初東亞ヨリ申込タル利子仕払延

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿  
領事代理副領事 河 西 信(印)  
南潯鐵道ニ閑スル件

ヲ決行スルハ聊カ危険ニ属スルヲ以テ時局ノ成行ヲ看テ決行スルヲ至当トスル旨申聞置候

尚本年上半期ノ利子仕払期モ已ニ切迫シ居ルヲ以テ之レニ對スル処理方ニ閔シ探聞スル処ニ拠レハ本期ノ利子ハ到底仕払可キ資金ナキヲ以テ東亞ニ対シ本年末迄延期ヲ請ヒ年未迄ニハ貢股徵収ヲ以テ本年度ノ利子ヲ悉皆仕払フ計画ナリト云フ

右ハ大体台灣銀行又ハ東亞興業会社ヨリ御聞込ノ事ト存候得共卑見具陳旁此段及報告候

敬具

写送先 在支公使

四七〇 六月十九日 在九江河西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛

## 南潯鐵道公司坐弁更迭ニ閔スル件

公信第六四号

(六月二十六日接受)

大正六年六月十九日

在九江

領事代理副領事 河 西 信(印)  
外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

南潯鐵道公司總理李盛鐸就職ト同時ニ其部下タル洪鑄ヲ坐

## 改選ニ閔シ具報ノ件

往信第八六号

(八月四日接受)

大正六年七月二十五日

在九江

領事 河 西 信(印)

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

本件ニ閔シテハ不取敢電報ヲ以テ及報告置候處同鐵路ハ商辦トシテ維持スル事至難ニシテ究竟國有ト為スヲ良策トシ之レカ商議ノ為メ曩ニ江西代表者ヲ北京ニ派遣シ協議進行中段内閣ノ瓦解ニ遭遇シ右代表者ハ空シク帰贛スルノ已ムヲ得サルニ至リ次テ復辟事件勃発シ該鐵道公司總理タル李盛鐸ハ内閣ノ一員トシテ任命セラレタルヨリ公司側トシテハ前途ヲ樂觀致居候處復辟派ノ破滅ハ公司側以外野心家ノ氣勢ヲ高メ殊ニ總理李盛鐸協理劉廷琦ト実兄劉廷琛ハ復辟与党トシテ指弾サルニ至リ且ツ劉廷琦ハ過般焦眉ノ急ヲ救フ為メ公司ノ貯蔵ニ係ル軌条ヲ売却シタルニ不正行為アリト一部ノ董事並ニ株主及有志側ヨリ著シク非難ヲ受ケ其余薛一身ニ及ハシコトヲ恐レ家族ヲ引繩メ過日上海ニ赴キ目下公司ノ主幹トシテハ坐辦タル張毅アルノミナルヲ以

辨トシ専ラ實務ノ衝ニ當ラシメシカ事業ノ不振ト一面董事

側トノ感情モ面白カラス不斷攻撃ヲ受ケ且ツ鐵路ノ前途無望ノミナラス本人ハ白耳義留学生トシテ相当ノ手腕ヲ有スルヲ以テ現地位ニ甘セス辞職セントシタレトモ李盛鐸トノ關係上強テ辭去スル能ハス不得已北京ニテ運動ノ結果今春江西印花稅分局長トシテ任命セラレ傍ラ鐵道公司ノ坐辦ヲ兼任シ居リシカ印花稅分局ノ事務モ予期ノ如ク進捗セス経費不足ノ為メ雇員ノ俸給モ仕払ハサル有様ナリシヲ以テ之レカ協議ノ為メ先般上京中ノ由聞聞シタルカ同人ハ今回北京ニ於テ相當ノ職ヲ得辞職シタルヲ以テ李盛鐸及現協理劉廷琦ノ推撰ニヨリ現營業科長タル張毅其後任トシテ就職シ候張毅ハ江西人日本留学生ニシテ鐵道公司設立以來在職シ從来日本側トノ接觸ハ重ニ彼ニ依ツテ為サレ彼等ノ感情極メテ良好ナレハ今後万事ニ好都合ナルヘシト存候

右不取敢及具報候  
敬具  
写送先 在支公使  
四七一 七月二十五日 在九江河西領事代理ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)  
南潯鐵道公司臨時總理及同協理ノ選舉並董事  
テ予テ公司側ニ反対ノ董事及株主並ニ地方有志ハ好機逸スヘカラストナシ現ニ鐵路ノ危機ハ目睫ニ迫リ居ルニモ不拘總理タル李盛鐸ハ常ニ北京ニ在リテ曠職其責ヲ尽サス亦劉協理モ擅ニ任地ヲ離レ恬シテ之ヲ顧ミサルカ如キ鐵路ノ為メ実ニ憂フヘキ而已ナラス現ニ主宰者今日ニ於テハ現状維持ノ必要上臨時總協理ノ選舉並ニ董事ノ改選ヲ行ヒ以テ善後策ヲ講セサル可ラストナシ南昌董事局ニ於テ過般來ヨリ數回ノ茶話会ヲ開キ一面江西督軍及省長ニモ其事情ヲ具申シ之レカ救濟ヲ請願シタル結果過日公司ノ現状調査トンテ督軍ヨリハ副官徐秉鈞鐵道公司監查役羅朗山株主側ヨリハ程道存南昌商務總會ヨリ書記譚章等ヲ派遣シ一ト通り調查ヲ了シ之ヲ去ル十九日ノ株主談話会ニ報告シ次テ七月二十一日ヲ以テ臨時株主大会ヲ開催シ臨時總協理ノ推举及董事ノ改選ヲ行フ件ヲ討議シ江西文武長官ノ協賛ヲ得タリトテ去ル二十一日之ヲ決行シタル結果

臨時總理 黃棣齊  
(江西人翰林未ダ官職ニ就キタル事)  
(ナシ以前協理ニ選マレタル事アルモ就職セス南昌ニ於テハ学者並ニ口利トシテ名望アリ)

同協理 程道存 (江西人前清知府目下江西督軍省長)

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四七二

董事 龔梅生（現南昌商務總會會長）

羅伯農（南昌商人）

包金波（南昌富豪）

胡伯午（南昌中國銀行總理）

傅子清（南昌民國銀行經理）

朱慕蓮（有志）

朱俠平（有志）

等當選シタル趣發表セラレタリ

然ルニ南潯鐵路株主会ナルモノハ從來モ屢々開催セラレタレトモ何時モ株主全体ヲ網羅シタル事ナク今回ノ臨時株主

大會ナルモノモ突嗟ノ間ニ僅カ二三十名ノ集会ニテ決行シタルモノナレハ章程違犯ヲ云々スル者モアリ又反対ヲ唱フル者モ不少且亦督軍省長モ本件ニ協賛ヲ与ヘタリト云フモアル當選者中辞任ヲ申出ル者モアリ果シテ如何ナル結果ヲ見ルヘキヤ目下ノ處予知シ難シ現任坐辦タル張毅ハ公司ノ役員トシテ本件ニハ何等干与セス抑モ坐辦ナル一職ハ李總理常ニ北京ニ在ルヲ以テ即チ總理ノ代理トシテ就職シ居ルモノナレハ總理ノ解職ト共ニ自然廃職トナルモノナレハ張

四六二

毅ハ好時機ヲ以テ退職スヘントノ意ヲ洩シ居レリ亦本件發生以來公司ヨリハ在北京ノ李總理ニ對シ數回請訓シタル事

アルモ同總理ヨリハ未タ一回モ回答ニ接シタルコトナシト云フ

右前電説明旁此段及具報候  
写送先在支公使 敬具

四七二 七月二十七日 古市東亞興業株式會社社長ヨリ  
小幡政務局長宛

南潯鐵路公司ノ人事及同鐵道省有問題ニ閔ス

ル件

附屬書 七月二十六日在上海白岩東亞興業取締役ヨリ古市社長宛電報写

拝啓一昨二十五日附御書面ヲ以テ南潯鐵道ニ閔スル九江河西領事ノ御報告写御廻示ヲ蒙リ難有拝見致候本件ニ関連スル事項ニ對シ昨二十六日上海白岩弊社取締役ヨリ別紙写ノ通リ來電ニ接シ候間為御参考供御高覽候 敬具

尙ホ別紙電文中高比良ト申スハ日清汽船會社九江出張所主任ニ有之又張毅ト申スハ從來南潯鐵路公司ノ工務課長ナリシ處先般坐辦ニ任セラレ目下其職ニ在ルモノニ有之

候 大正六年七月二十七日

東亞興業株式會社

社長 古 市 公 威(印)

第五号

四七三 七月二十七日 本野外務大臣ヨリ  
在上海有吉總領事宛(電報)

南潯鐵道ニ對スル借款ニ閔シ米國公使ノ督軍

申入ニ付寒否突止方訓令ノ件

第一九号

在貴地白岩竜平発東亞興業ヘノ電報ニ依レハ南潯鐵路公司坐辦張毅ハ日清汽船會社九江出張所主任ニ對シ米國公使ヨリ同鐵道ノ借款ニ応シ度旨江西省督軍ニ申入レアルコト確実ナリト内話セル趣ナルカ右ハ我方トシテ打捨置難キ次第ニ付実否突止メ電報アリ度シ  
右訓令トシテ北京及九江ニ転電アリ度シ

四七四 七月二十九日 在九江河西領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

南潯鐵道ノ借款ニ応ジタキ旨米國側申入事實

ナル趣ニ付回電ノ件

第一九号

在上海總領事宛貴電第五一号ニ閔シ張坐辦ニ面会事実ヲ取調ベタル所九江英租界米國医師「デニー」ナルモノ北京米國公使館ノ書記官ノ依頼ヲ受ケ張坐辦ニ對シ南潯鐵路ノ借

款ニ応ジタキ旨申込ミタルハ事実ナリト而シテ日本トノ借款契約ノ一覽ヲ乞ヒタルニ付契約ハ秘密ニ属スルヲ以テ之ニ応スル能ハズ且自分ノ職務ハ單ニ經營上ノ担当者ニ止マルヲ以テ斯ル問題ニ閔与スルヲ得ズト答ヘ置キタリト米国側トシテハ鉄路紛糾ヲ來シ居ル此機会ヲ利用シ南昌新役員又ハ官辺ニ運動ヲ試ミ居ルヤモ測リ難キモ其辺ノ事情判明セズ尚張ノ語ル所ニヨレバ今春北京ニテ米国借款談アリタルハ事實ニシテ通惠公司ノ資金トシテ投スル計画ナリシガ如シト既報ノ如ク役員改選後ニ於ケル該鉄路ノ内情ハ頗る紛擾ヲ極メ今後如何ニ変化スヘキヤ予知シ難ク此際東亜ハ至急代表者ヲ派遣シ之ガ成行ヲ監視シ場合ニ依リテハ干涉ヲ試ムル要アルベシト思考ス張モ之ヲ希望シ居レリ

北京、上海へ転電セリ

四七五 七月三十一日 在上海有吉總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

### 白岩東亜興業代表運動中ノ南潯鐵道延長線問

#### 題ニ口添方稟請ノ件

附記 八月十日外務省決定

江西省広東省鐵道ニ閔スル件

南潯鐵道延長線ニ就テハ白岩竜平東亜ヲ代表シ種々運動中ナルハ御承知ノ如クニシテ当初先方ハ李烈鈞ヲ中心トシテ事ヲ進ムル計画ナリシ處最近政局ノ事情ニ顧ミ徐紹楨ヲ以テ之ニ代フルコトナリ之カ関係者ハ何レモ同地方ニ於テ相当信用アルモノト認メラレタルニ依リ白岩ニ於テ引続キ交渉ノ上概略内協議ヲ遂ケタル条件同人ヨリ台灣銀行ヲ経テ東亜ニ電報ノ筈ナリ右交渉其他ニ付テハ小官モ終始承知致シ居ル處ニテ差当リ右ハ最モ適當ノ手段方法ト認ムルニ依リ右成立方御差支ナキ限り何分ノ御口添ヘヲ請フ

在支公使ヘ電報セリ

(附記) 八月十日外務省決定

江西省広東省鐵道ニ閔スル件

江西省九江ヨリ同省南昌ニ至ル南潯鐵道ハ中部支那ニ於ケル我邦唯一ノ関係鐵道ニシテ其ノ資金ノ殆ト全部ハ我東亜興業會社ヨリ之ヲ融通セリ然ルニ本鐵道ハ事實一地方ノ小鐵道ニ止マルカ為營業狀態極メテ不良ニシテ常ニ欠損勝ノ実情ナル處之カ改善刷新ヲ図リ以テ其ノ財政狀態ヲ強固良

全ナラシムルニハ一二其ノ線路ノ延長ヲ實行シ地方的小鐵道タルノ状態ヲ脱セシムルニ在ルコト日支双方当事者ノ意見共ニ等シク一致スル所ナリ從ツテ本鐵道ノ出資者タル東亜興業會社ニ於テモ多年其ノ延長ノ實現ニ腐心ノ結果先般來同社取締役白岩竜平ヲ渡支セシメ極力各方面ニ交渉尽力スル処アラシメタル処今回關係支那人ト商議ノ末南潯鐵道ノ南端タル南昌ヨリ廣東省韶州ニ至ル鐵道ヲ敷設シ以テ事実南潯鐵道ノ延長ヲ圖ルヘキノ成案ヲ得ルニ至レリ同案ニヨレハ支那側ニ於テ新ニ南韶鐵道株式會社ナルモノヲ作リ裏面ニ於テ日本側ヨリ資金ノ援助ヲ受ケ交通部ヨリ鐵道ノ敷設許可ヲ得タル上ニテ日支間ニ正式ニ借款契約ヲ締結シ尚他日適當ノ時期ニ至リ南韶鐵道公司ト南潯鐵路公司トノ併合ヲ實現スル計画ノ由ナリ

右ノ事情ヲ具シ今般東亜興業會社ヨリ本件ニ對スル政府ノ意向並ニ援助方伺ヒ出タル処右ハ此ノ際機宜ニ適シタル措

置ト認メラルノミナラズ同鐵道ト共ニ曩ニ支那側ヨリ申出ニ係ル福建省ヨリ江西省ヲ經テ湖北省ニ至ル鐵道ノ敷設ヲ見ルノ曉ハ兩々相俟テ中支及南支地方ニ於ケル我勢力ノ根蒂ヲ築クヲ得ヘク是レ実ニ帝国カ中支及南支地方ニ於ケ

(欄外註記)

「首相藏相ト打合済」(本野)  
「政務局長ヨリ古市氏ニ通達済」

四七六 八月一日 在上海有吉總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

南潯鐵道延長線ノ詮議上特ニ考慮ヲ要スル点

ニ閔シ稟申ノ件

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四七六

四六五

## 第一七八号 在支公使発外務大臣宛第一〇七九号

有吉発閣下宛第一七五号ニ閑シ白岩運動中ノ南潯延長線（有吉発先月十一日附報告参照）ハ大正三年八月英國公使ト交通總長トノ間ニ約束セル線路ニ該當スルモノト認メラルニ付本件詮議上其点特ニ御考慮相成様致シ度シ念ノ為（附記）

（政務局調査）

## 南支鉄道諸線ト其英國トノ関係

福建省ヨリ江西省ヲ經テ湖北省ニ至ル鐵道ハ明治三十三年以来ノ我要求線ニ係リ支那側ニ於テ此等鐵道ヲ他国ニ譲与スルコト之ナキ旨言明シ居レルモノナリ而シテ右鐵道線路ハ左ノ如シ

一、幹線 厦門、福州、光沢、撫州、南昌、漢口線

一、支線（一）福州、羅源、三都澳線

（二）南昌、衢州、杭州線（衢州及杭州、浙江省ニ在リ）

右ノ外大正三年中南昌杭州線ト右幹線トヲ連絡スヘキ支線（例へハ延平常山線）ノ敷設権若ハ借款権譲与方支那政府ニ申入レタルコトアルガ外國側トノ間ニハ何等問題ヲ生ゼザリキ

線獲得ノ意アルコトハ現ニ明治四十年六月五日ノ公文ヲ以テ英國政府ニ言明シ置キタル次第モアルニ付英國政府ニ於テ上記ノ事情ト帝國政府ガ寧湘鐵道ニ對スル要求ヲ撤回スルニ至リタル精神トニ鑑ミ英國政府ニ於テ今更帝國政府既定計画線ノ一部タル南昌漢口線ニ付故障ヲ提起セラレザラムコトヲ望ム旨同大使ニ申入レタリ其ノ後大正四年日支交渉ノ際在本邦英國大使ヨリ帝國政府ニ對シ今回日本ノ要求ニ係ル武昌ト九江南昌線トヲ連絡スル鐵道ハ寧湘鐵道借款契約ニヨリ英國会社ニ於テ優先権ヲ有スル南昌萍鄉間ノ一地点ヨリ湖廣鐵道湖北管内線ノ一地点ニ接続スル支線敷設予定線アルニ鑑ミ支那政府ニ取リ經濟上何等価値ナキモノタルペントテ帝國政府ノ考慮ヲ促シ來リタルヲ以テ帝國政府ニ付テハ本鐵道ハ事実福建武昌（漢口）線ノ一部タル南昌九江武昌線ヲ少シク變更シタル迄ニシテ右福建南昌武昌（漢口）線ニ付テハ明治四十年中前記ノ通帝國政府ヨリ英國政府ニ申入レタル次第モアリ又右福建武昌線中福建南昌線ニ閑スル我要求ハ之ヲ援助スルニ異議ナキ旨英國政府ニ於テ言明セルコトアリ且又武昌南昌線ニ付テハ大正三年中前記ノ通り我希望ヲ表白シタル如キ行懸アル旨同大使ニ

答シ以テ英國政府ノ反省ヲ求メタリ

一、支線ノ一、即チ福州、羅源、三都澳線

本線ニ付テハ何等外國トノ間ニ具体的ニ問題ヲ生スルニ至リタ

ルハ大正四年日支交渉ノ際ニシテ當時在本邦英國大使ヨリ帝國政府ニ對シ寧湘鐵道借款契約ニ拠リ英國會社ニ於テ借款権ヲ有スル寧湘鐵道ハ徽州府南昌線ヲ含ミ居ルコト及右徽州府附近ヨリ杭州ニ至ル支線敷設ニ閑シ英國會社ニ於テ優先権ヲ有スルコト竝滬杭甬鐵道（即チ上海ヨリ杭州ヲ經テ寧波ニ至ル鐵道）支線ニ閑シ優先権ヲ有スルコトニ顧ミ支那政府ハ日本ノ要求ニ係ル南昌杭州線ニ閑シテハ既ニ英國側ヨリ拘束セラレ居ル次第ナル旨申出デタルヲ以テ帝國政府ハ右ニ對シ本鐵道ハ明治三十三年以來日支間ノ懸案ニ係リ特ニ大正三年以来（寧湘鐵道借款契約成立前）速カニ契約締結方帝國政府ヨリ支那政府ニ迫リ居ルモノニシテ同線ノ經過地点ハ物資ニ富ミ經濟上發達ノ見込モ大ナルノミナラス英國側ノ利害關係アル寧湘鐵道トハ余程ノ間隔アルヲ以テ本線カ英國側ノ利益ヲ害スベシトハ思考セラレス

一、幹線即チ廈門、福州、南昌、漢口線

明治四十年中帝國政府ハ在本邦英國代理大使ニ對シ廈門福州ヨリ南昌ヲ經テ漢口ニ至ル鐵道敷設権ハ明治三十三年以來ノ我要求線ニ係リ清國政府ハ決シテ之ヲ他國ニ与ヘザル旨再三繰返シ言明シタルモノニシテ結局適當ノ方法ヲ清國ト協定シ之ヲ實行スル考ナル旨申入レタルガ大正三年中寧湘鐵道問題ニ關シ我主張ヲ撤回シタル際 在本邦英國大使ニ對シ帝國政府ニ於テハ近々支那ニ向テ南支方面ニ於ケル鐵道ニ關シ交渉ヲ開始スル筈ニ付其ノ節ハ英國政府ヨリモ相当援助ヲ期待スル旨申入レタルガ右ニ對シ英國大使ヨリ書面ヲ以テ日本ノ要求ニ係ル福建漢口鐵道ニ付援助ヲ与フル件ハ福建南昌線ノ閑スル限り何等異存ナキモ南昌漢口線ニ付テハ英國企業ノ為之ヲ獲得スルノ権利ヲ主張セザルヲ得ザル旨申越シタリ仍テ帝國政府ハ右ニ對シ南昌漢口線ハ日本資本家ニ於テ夙ニ密接ナル關係ヲ結ビ現ニ建設工事中ナル南昌九江線ヲ九江ヨリ漢口ニ延長シタルモノニ係リ帝國政府ガ實ニ多年其ノ完成ヲ期望スル漢口福建線ノ重要ナル一部分ヲ構成スルモノニシテ之ヲ我ニ收メムトスルハ從来ノ成行ニ顧ミ當然ノ義ナルノミナラズ帝國政府ガ漢口福建

寧口両線相共ニ利益ヲ挙クルノ余地十分アルベキ旨回答セリ

尚右武昌ト九江南昌線トヲ連絡スル鉄道及南昌杭州鉄道

ニ付テハ前記英國政府ノ申出ニ対スル帝國政府ノ回答後

間モナク日支交渉解決ト共ニ日支間ニ於テ他日ノ商議ニ

讓ルコトナリタルカ其ノ後日英両国政府間ニ当分此ノ種鉄道問題ヲ提起スルコトナカルヘキ了解成立シ居レリ

(欄外註記)

「九江武昌間ノ鉄道ニ付テハ英國政府ハ異議ヲ唱フルコトナカルベキヤ未ダ我主張ヲ容レタルノ形跡ナキガ如シ如何」

大正六年八月四日 古市東亞興業株式会社社長ヨリ

四七七 八月四日 古市東亞興業株式会社社長ヨリ

### 南潯鉄道延長ニ関スル契約案全文等送付ノ件

附屬書 七月三十日付在上海白岩東亞興業取締役ヨリ古市社長宛書信写

南潯鉄道延長ニ関スル協議内容並該契約案ニ付報告ノ件

拝啓南昌韶州線計画ニ関シ在上海白岩當社取締役ヨリ電信致來リ候契約草案ハ昨三日供貴覽置候処本日該契約全文ヲ記載セル書面別紙写ノ通り到着致候ニ付茲ニ重ネテ供貴覽

附約第一ハ先方ノ新タナル注文ニ候得共見セ金ノミニテ実

吉市社長宛

上海 白 岩 竜 平

拝啓

七月二十四日付電報ヲ以テ南潯延長線ノ件急ニ進行ヲ初メ該成行及御報道置候通リニ有之其先方ト会合商議ヲ重ネ本日午後略別紙添付ノ通り契約案ヲ協議致候明日此大意ヲ電報シ御同意ヲ得テ調印ノ事ニ先方ト相約シタル儀ニ有之候明朝未明ニ船便有之次便ハ一二三日遅レ候ニ付電報ト御照合ノ便利ノ為ニ不取敢茲ニ郵送致候

大正六年七月三十日

東亞興業株式会社

社長 古市公威(印)

外務省

小幡政務局長殿

(附屬書)

(写)

際払込資金ナクテハ外間ノ攻撃ヲ受ケタルトキ失体暴露為ニ失敗ヲ取ルノ虞有之トノ心配ニ出テ尤モノ儀トモ被存此

ノ如キ案トナシタル次第ニ有之候又五十万元ノ支出ハ其ノ多半ハ彼等ノ運動費トナルヘキモノト想像致候

其他ハ別ニ御説明申上候程ノ事モ無之ト存シ急キノ儘省略致候

本案ハ有吉總領事及黒葛原台銀支店長ニ逐一御協議其同意ヲ得テ協議進行致候モノニ御座候

先方ニテ交通部へ出願書ニ列記スヘキ発起人ノ中ヘ陳三立ノ子同氏ヲ代表シテ署名スルコトニ同意致來リタル由ニテ大ニ力ヲ得タリトノ事ニ御座候

先ハ右要領ノミ如此御座候 三十日夜半  
(別紙)

### 契約案

南韶鉄道株式会社設立発起人(以下甲ト称ス)ト東亞興業株式会社取締役(以下乙ト称ス)ト左記各項ヲ契約ス

第一条 現ニ甲ニ於テ南昌ヨリ韶州ニ至ル商辦股份鉄路

公司ヲ発起シ部ニ向テ稟請ヲナシ部ヨリ資ヲ驗スルニ由リ下列条件ノ下ニ其所用資本ヲ暫ク乙ヨリ代備スル

五 南潯鉄道ニ関スル件 四七七

四六九

五 南尋鐵道ニ閥スル件 四七八

四七〇

第六条 部ニ請ヒ許可ヲ得ルニ付テ若シ必要アルトキハ  
甲乙相談ノ上協力スルモノトス

第七条 本契約ハ双方嚴ニ秘密ヲ守リ局外ニ漏洩セサル  
コトヲ期ス

第八条 本契約ハ日支文各四通ヲ作リ一通ヲ日本領事館  
ニ届出証実シ他ノ一通ヲ乙ニ二通ヲ甲(江西、廣東各)  
ニ各分有ス

附約

甲ノ署名者

徐紹楨廣東

程允(菊圃)江西  
胡國梁江西  
鄒靜齊江西

第一条 交通部許可ノ後甲ヨリ乙ニ向テ別ニ銀百八拾万  
元ノ借款契約ヲ訂結シ以テ臨時驗資ノ需ニ備フ但シ此  
内百參拾萬元ハ正式借款調印前ニ在テハ乙ノ同意ヲ経  
ルニ非レハ使用スルヲ得ス残額五十万元ハ專ラ会社進  
行費目上ニ在リテ供用スルヲ得、本借款ニ対スル担保  
ハ第一甲ノ個人連帶保証第二該金額ニ相當スル南韶公  
司股票第三交通部許可状トス

本借款ハ割引ナシ利息ハ六朱乃至八朱ノ間ニ於テ協定

四七八 八月十三日

在上海

(八月二十三日接受)

機密公第六八号  
南尋鐵道延長線ニ閥スル契約書調印及認証ノ  
件

附屬書 右契約書

大正六年八月十三日

在上海

(八月二十三日接受)

総領事 有吉明(印)  
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿  
本件ニ關シ本月二日附機密公第六五号ヲ以テ及報告置候次  
第有之候処昨日午後南韶鐵道株式会社設立発起人徐紹楨、  
程允等ト東亞興業株式会社取締役白岩竜平トノ間ニ別紙契  
約書ニ調印ヲ了シ本日両当事者並ニ見証人等當館ニ出頭ノ  
上右認証方申請致越候ニ付右様取計置候段右ニ御承知相成  
度尚未本件詳細ハ目下帰朝ノ途中ニアル白岩ヨリ親敷上申  
可致不敢別紙契約書写相添へ及報告候 敬具  
本信写送付先 在支林公使

(附屬書)

契約書

南韶鐵道株式会社設立発起人徐紹楨程允等(以下甲ト称ス)  
ト東亞興業株式会社取締役白岩竜平(以下乙ト称ス)ト左  
記各項ヲ契約ス

第一条 現ニ甲ニ於テ南昌ヨリ韶州ニ至ル商辦股份鐵道公

司ヲ発起シ部ニ向ツテ稟請ヲナシ部ヨリ資ヲ驗スルニヨ

リ下列条件ノ下ニ其所用資本ヲ暫ク乙ヨリ代備スルモノ

トス

スルコト期限ハ五年トシ期内元利ヲ完済スルモノトス  
第三条 会社設立ノ許可並ニ借款契約承認ニ閑スル一切  
ノ費用ハ甲ノ負担タルヘキ事

第四条 本契約調印後六個月以内ニ若シ交通部ノ許可ヲ  
得サルトキハ本契約ハ無効トス  
以上

第五条 代備驗資ハ銀貳百參拾萬元以内ト予定シ另ニ具ス  
ル合同ノ様式ニ依リ借拠ヲ立ツルモノトス、但交通部ヨ  
リ許可ノ内達アリタルトキ甲ヨリ乙ニ通知シ實行スルモ  
ノトス

第六条 交通部許可ノ上ハ速カニ一面技師実測ノ上線路ヲ  
決定工事着手ノ準備ヲナシ一面借款正契約ヲ訂立スルコ  
ト、其金額ハ日本貨幣金千五百万円以内ト仮定シ部ニ請  
フテ核准ス

第七条 株金ニテ自備スル以外ノ工事費ハ總テ東亞興業会  
社ヨリ借款スルコト、但シ其利息ハ六朱ヲ下ラス八朱ヲ  
上ラサル範囲ニ於テ協定スルコト又其条件トシテハ技師  
長及会計長ヲ債権者ヨリ推薦シ甲ヨリ聘用シ工事ハ包弁  
ノ方法ニ由リ責成速進ヲ期スルコト其他借款交付ノ時期  
及元利償還ノ期限等ヲ除ク外概不東亞南尋借款合同ニ依  
拠スルモノトス

第八条 此項辦法本ト南尋線ヲ現状ヨリ救活スルヲ目的ト  
シ并ニ各種寒暑利輸ノ為ニ起見シタルモノニテ此目的ヲ  
達成スル為メニハ適當ナル時機ニ於テ南韶公司ハ南尋公  
司ト併合ヲ行ヒ又ハ借款ノ本利返済ニ双互共通ノ便法ヲ

設クルカ如キ一々此ニ列挙セサルモ必要ニ由リ双方協議ノ上設施シ得ルモノトス

第六条 部ニ請ヒ許可ヲ得ルモノトス  
相談ノ上協力スルモノトス

第七条 本契約ハ双方敵ニ秘密ヲ守リ局外ニ漏洩セサルコトヲ期ス

第八条 本契約ハ日支文各四通ヲ作製シ一通ヲ日本總領事館ニ届出証美シ他ノ一通ヲ乙ニ、二通ヲ甲ニ各分有ス

## 附約

第一条 交通部ニ於テ会社設立許可状発給ノ上ハ直ニ正式借款契約ヲ訂結シ地方官及中央政府ノ認許ヲ受クルモノトス

第二条 交通部許可ノ後会社設立ノタメ乙ハ甲ニ相当便宜ヲ与フルモノトス

第三条 会社設立ノ許可並ニ借款契約承認ニ閑スル一切ノ費用ハ甲ノ負担タルヘキコト

第四条 本契約調印後若シ相当期間内ニ交通部ノ許可ヲ得サル時及意外ノ障礙ニテ進行シ能ハサル時ハ本契約ハ無効トス

大正六年八月十二日  
中華民国六年八月十二日  
東亞興業株式会社取締役  
白 岩 竜 平

株式会社台灣銀行上海支店支配人

見 証

黒葛原兼温

程 允 槟

南韶鉄路股份公司設立発起人  
見 証 徐 紹

鄭 淮

陳 隆

姚 景

楊 良

吳 端

陳 隆

恪 伯

斌 良

昌 良

見 証

右認証ス

大正六年八月十三日  
在上海

第三条 会社設立ノ許可並ニ借款契約承認ニ閑スル一切ノ費用ハ甲ノ負担タルヘキコト

第四条 本契約調印後若シ相当期間内ニ交通部ノ許可ヲ得サル時及意外ノ障碍ニテ進行シ能ハサル時ハ本契約ハ無効トス

右認証ス

大正六年八月十三日  
在上海

總領事 有 吉 明(印)

第一条 本契約ハ日支文各四通ヲ作製シ一通ヲ日本總領事館ニ届出証美シ他ノ一通ヲ乙ニ、二通ヲ甲ニ各分有ス

第二条 交通部許可ノ後会社設立ノタメ乙ハ甲ニ相当便宜ヲ与フルモノトス

第三条 会社設立ノ許可並ニ借款契約承認ニ閑スル一切ノ費用ハ甲ノ負担タルヘキコト

第四条 本契約調印後若シ相当期間内ニ交通部ノ許可ヲ得サル時及意外ノ障碍ニテ進行シ能ハサル時ハ本契約ハ無効トス

(附属書)

八月十四日在上海白岩取締役發古市社長宛電報

電承御指図ニヨリ昨日契約調印ヲ了シタリ見証トシテ黒葛原支配人ノ加名ヲ乞ヒ又本日領事館ノ公認モ經タリ附則第二条ハ修正ノ通りトシ別ニ小生個人ノ資格ニテ旧案ニ似寄

第五 南潯鐵道ニ閥スル件 四七九 四八〇

問題ニ閑シテハ種々議論モアリタレトモ結局黃ニシテ事故ノ為メ一時就職シ能ハストセハ現状維持ノ必要上程協理ヲシテ代理總理ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ決議シタルニ程道存ハ其重任ニ勝ヘストシテ再三之レヲ謙辞シタルニ衆議ヲ以テ其就職ヲ勧告シ遂ニ左ノ条件ノ下ニ就職ヲ肯シタリト云フ

一、急需款項ハ總協理ニ因テ籌借スルコト之レニ閑シテハ董事モ一致協助スルコト

二、代理總理ノ担任時期ハ大会ヲ開キ正式總理ノ撰定ヲ以テ終リトナスコト

三、二ヶ月内ニ正式ノ大会ヲ召集スルコト並ニ連合会ヨリ董事局ニ亟知シ之レヲ軍民兩長官及京局ニ転請シテ案ヲ備フルコト

代理總理就職ノ期日ハ現坐辦張毅ノ來省ヲ催促シ接洽交渉ノ後即チ九江ニ赴キ就職スルコト

代理總理ハ即日董事局ニ移厲シ諸董事ト一切籌画ニ便スルコト

董事包金波、胡伯午ノ辭職ハ多數ノ議決ヲ經テ之レヲ准シ別ニ候補董事タル蕭夢白、蕭小吾ヲ補充スルコト

リ本省ニ報告ノ次第有之候處該線路ハ往電第一〇七九号ヲ以テ申進置候通リ大正三年八月英國公使ト交通總長トノ間ニ約束セル線路ニ該當スルモノト認メラレ追テ前記契約締結ノ消息外間ニ漏ルルニ至ラバ英國側ヨリ必ズ質問シ来ルベシト被存候条其場合ニハ如何応答シ可然哉今ヨリ弁明振ヲ一定シ置クコト必要ナルヘシト被存ニ付御詮議ノ上何分ノ義可成速ニ御回示相成度此段申進候也

本信写送付先 上海總領事

註1 前掲四七八文書

2 前掲四七八文書

#### 四八二 九月十八日

在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

#### 南潯鐵道延長線ニ閑スル英國側ヘノ弁明振ニ

付至急電訓方稟請ノ件

(九月十九日接受)

往電第一二八九号ニ閑シ九月十七日南韶鐵路公司發起人楊景斌西田ヲ來訪シ自分ハ南韶線認可運動ノ為來京シタルモ

在本邦徐紹楨ヨリ政事上ノ關係ト混同セラルコトヲ避クル為暫ラク運動ヲ見合スヘキ旨電報ニ接シタル趣並ニ兼テ

即チ右ノ通リニシテ大体其組立ハ行ハレタル如キ觀アルモノシテ鐵路ノ實權ヲ掌握スルヲ得ヘキヤ否ヤハ尚未疑問ニシテ代理總理ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ決議シタルニ程果シテ鐵路ノ實權ヲ掌握スルヲ得ヘキヤ否ヤハ尚未疑問ニシテ代理總理ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ決議シタルニ程

右不取敢及具報致候 敬具  
写送付先 在支公使

#### 四八一 九月八日

在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛

#### 南潯鐵道延長線ハ先年英國側ヨリ質問ノ場

#### セル線路ニ該當スルニ付英國側ヨリ質問ノ場

#### 合ノ弁明振請訓ノ件

機密第二九六号

大正六年九月八日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法學博士子爵 本野 一郎殿

#### 南潯鐵道延長線ニ閑スル件

今回南韶鐵道會社設立發起人ト東亞興業會社白岩取締役トノ間ニ南昌ヨリ韶州ニ至ル鐵道敷設計画ニ閑シ契約ヲ締結シタル趣客月十三日付機密公第六八号ヲ以テ有吉總領事ヨ

シ居リタル次第モアリ既ニ楊ヨリ南韶線ノ消息ヲ漏シタル以上自然白岩ノ計画英國側ノ耳ニ入ルヤモ計リ難ク且楊ハ他ノ交通部關係者ノ意向ヲモ探リタル由ニ付或ハ外間ニモ漏ルルニ至ルヘキカト懸念セラルニ付機密第二九六号伺出ノ廉ニ対シ至急何分ノ御電訓ヲ請フ  
上海へ転電セリ

#### 四八三 九月二十日

本野外務大臣ヨリ  
在中國林公使宛(電報)

#### 南潯鐵道延長線ニ閑シ英國側ヘノ弁明振及我

第六七九号(極秘)

貴電第一三一九号ニ閑シ

動ヲ試ムル仕組ト相成居レルニ付外部ニ対シテハ本計画ハ我方専クトモ帝国政府ノ全然承知セザル立前トナリ居ル次第ニ付万一千支英國側ヨリ問題起リタル時ハ一応右ノ御含ニテ可然御應酬相成度シ尤先年帝国政府ヨリ英國政府ニ対シ南支及中支鐵道ニ付テハ當分兩國共自制的態度ニ出デ度旨申入ル所アリタルニ英國政府ハ結局英國会社力直接支那側トノ間ニ其商議ノ進行ヲ計ルニ対シ干涉スルヲ得ズトテ保留的態度ニ出デタルヲ以テ(大正四年十月五日附政機密送第一九四号参照)爾來帝国政府ニ於テハ好機會アラバ日英共同其他何等適當ノ方法ニヨリ南支及中支地方各鐵道問題ノ解決ヲ計リ度希望ナリシガ偶々今回本問題ヲ機会トシテ英國政府ト交渉シ右我年来ノ希望ヲ實現スルノ措置ヲ講スルコトト致度我内意ニ付右様含ミ置カレ度シ右訓令トシテ上海ニ転電アリ度シ

四八四 十月四日 在中国林公使(ヨリ)  
本野外務大臣宛(電報)

#### 南潯鐵道延長問題ニ閥スル葉交通次長ノ内意

報告及英國政府トノ開談方可然旨稟申ノ件

第一三九七号

ルニ於テハ速ニ英國政府ニ御開談相成ルコト可然ト思料ス  
何分ノ義回電ヲ請フ

四八五 十月六日 本野外務大臣(ヨリ)  
在中国林公使宛(電報)

南昌贛州間及贛州韶州間鐵道ニ閥スル交渉方  
針並前者ニ付テハ可成速ニ話ヲ纏ムル様訓令

ノ件

第七四四号

貴電第一三九七号ニ閑シ

南昌贛州間ハ公然日本ニ於テ關係シ差支ナキモ贛州韶州間

ハ英國ノ關係アレハ表面支那資金ニテ敷設スルコトシ名義丈ケ二公社トセザルベカラザル處右方針ニテ交渉ヲ進メ差支ナキヤ河野ヨリ電報アリタル趣ヲ以テ古市東亞興業社長ヨリ伺出ノ次第アリタルニ付右ノ方針ニテ進行ヲ図ル外ナカルベキ旨申聞ケ置キタリ尤モ當方ノ内意ニテハ若シ本

資金借入方支那政府ニ於テ異議ナキコト確実ナルニ於テハ右ノ通計画ヲ変更スルモ差支ナキ考ナルガ全線中支那当局

ニ於テ異存ナク且最モ有望ナル南昌贛州間丈ケハ兎ニ角可  
貴電第一三一九号及貴電第六七九号ニ閑シ最近楊景斌河野久太郎ヲ來訪シ南韶鐵道ニ付交通部秘書ヲ介シ葉次長ノ内意ヲ探リタルニ同次長ハ南昌贛州線ハ外國トノ關係ナキニ依リ日本ノ資本ニテ建設スルコト差支ナカルヘキモ贛州韶州間ハ英國トノ約束上支那ノ資本ニアラザレハ建設スルヲ得ズ從テ前者ハ日本ヨリノ資金ノ供給ヲ受クル会社ニテ、後者ハ純然タル支那資金ヲ用ユル他会社ニテ別々ニ經營スル外ナカルヘシ尤モ南昌韶州線ヲ見合セ南昌、贛州、潮州線トセハ全線ニ対シ日本ヨリ資金ヲ仰クコトスルモ差支ナカルヘシ尚南昌韶州間ハ千二百五支那里一年ノ總收入約千四百万弗工事割合ニ困難ナラザル見込ナルモ南昌潮州間ハ千五百七十支那里總收入約八百万弗工事ハ河川多キタメ頗ル困難ナルヘシトノ意向洩ラシタル趣内話セル由ナリ将又本件ニ閑シ河野ヨリ古市博士ニ電報シタルニ橋三郎其ノ内運動ノ為メ北京ニ赴クヘキ旨返電シ来レル由ノ処前記葉次長ノ意向ナルモノハ腑ニ落チ兼ヌル点モアリ如何ナル程度迄事實ナルヘキヤハ判断ニ苦シムモ既ニ葉ノ耳ニ入リタル以上万ニモ英國側ニ伝ハルカ如キコトトモナラハ無用ノ誤解ヲ招ク虞アルニ付此際本件ヲ進行セシメタキ御考ナ

成速ニ話ヲ纏メ置クコトト致度又英國側ニ対シテハ先ツ以テ以上ノ通専クトモ南昌贛州線ニ閥スル計画ノ進捗ト共ニ我立場相當確実ト成ルヲ俟テ交渉ヲ開始スルコト然ルヘシト思考セラルニ付右様含ミ置カレ度シ

右為參考極内密ノ含迄トシテ上海、九江ニ転電シ置カレ度シ

四八六 十月六日 古市東亞興業株式會社社長(ヨリ)  
小幡政務局長宛

南韶鐵道敷設計画ニ閑シ橋三郎ヲ北京へ派遣

ノ件

挿啓南韶鐵道敷設計画ノ件ニ閑シ橋三郎ヲ當社代表トシテ

北京ニ派遣スルコトシ同人ハ去ル二日夜当地出發朝鮮經由北京ニ向ヒ候右御聽置被成下度奉得貴意候 敬具

大正六年十月六日

東亞興業株式會社

外務省政務局長 小幡 西吉殿

四八七 十一月二十七日 在九江河西領事(ヨリ)  
本野外務大臣宛(電報)

五 南潯鐵道ニ閥スル件 四八五 四八六 四八七

四七七

**南潯鐵道公司株主大会ノ模様報告ノ件**

第三二号

南潯鐵道株主大会ハ予期ノ如ク十一月二十五日開会シタルモ出席株主定数ニ満タス官庁側ヨリハ軍民両長ヲ代表シテ九江鎮守使其ノ其他列席討議ニ入リタルニ論議百出非常ノ混亂ヲ極メ本年七月臨時会ニテ選舉シタル總協理及董事ノ効力ヲ取消シ總協理ハ矢張李盛鐸劉廷琦トシテ現状ヲ維持シ一面国有トナスコトヲ運動スルコトニ多數ノ意見一致シタル外何等具体的決議ナク有耶無耶ノ間ニ解散シタリト、北京へ転電セリ

四八八 十二月二十二日 本野外務大臣宛(電報)

**南潯鐵道延長問題ニ閔スル李盛鐸内話報告ノ件**

第一七六七号

本使翁九江宛電報第二二号(十二月二十二日)十二月二十日李盛鐸船津ヲ來訪シ大要左ノ通り語リタル由ニ付橋ヘモ伝ヘシメ置キタリ

南潯鐵道善後始末ノ為先般來江西督軍及省長ヨリ自分ノ南

昌ニ來タルコトヲ督促シ來タリタルモ自分ハ同鐵道ハ何レノ方面カニ延長スルニアラザレハ到底整理ノ望ナシト信シタルニ付先ツ交通部當局ヨリ延長線ノ許可ヲ得ル必要アリト考ヘ過般來極力運動ノ結果昨日ニ至リ漸ク地方人民サヘ反対セザレバ交通部ノ閔スル限り許可ヲ与ヘ差支ナキ旨葉交通次長ノ内諾ヲ得タルニ付自分ハ愈々明日南昌へ向テ当地出發ノ筈ナリ将来何レノ方面ニ延長スヘキヤハ大ニ研究ヲ要スヘキコトト考ヘラルルガ此点ニ閔シテハ白岩君トモ篤ト相談ヲ遂ケタキニ付御序ノ節同氏ヘ此趣御伝ヘアリタシ尚交通部ハ既ニ其内諾ヲ与ヘ督軍省長ハ年来ノ知人ナル故何トカ話合出来得ヘキ望アリ唯省議会及地方紳士側ノ同意ヲ得ルコトダケハ多少面倒ナルヘキモ之トテ方法宜シキヲ得ハ見込ナキニアラズ云云

四八九 十二月二十六日 古市東曲興業株式會社社長ヨリ

**南潯鐵道延長計画ニ對シ中國内部ノ意向相異**

**アルニ付其運動方針判断ニ苦慮ノ件**

(十二月二十七日接受)

拝啓南潯鐵道延長線ノ件ニ閔スル在北京當社出張員橋三郎

ヨリノ報道ハ逐次御供覽置候処本件ニ閔シ試ミニ当社白岩取締役ヨリ今次來朝ノ梁士詒氏ニ会談致シタル所ニ依レハ大略別紙(甲)記載ノ通りニ有之即チ梁氏ノ意見タルヤ該

延長線ハ國有トナスヘキコト既定ノ方針ニ付私設経営ヲ出願スルトモ許可ヲ与ヘザルナラン寧ロ東亞興業會社ハ直接交通部ニ交渉シテ延長線借款契約ヲ為ス方然ルヘシトノコトニ有之候事情果シテ斯ノ如クナルニ於テハ目下橋三郎ノ

参加幫助致居候程允等ノ運動ハ無意味ノ様ニモ被存候猶又一昨二十四日御回示ヲ蒙リ候二十三日附林駐支公使御来電写ニ依レハ本件延長線ニ閔シテハ南潯鐵道公司總理李盛鐸氏モ亦嘗テ當会社ヨリ同氏ヘ申入レタル次第モアリシ為メ

カ運動ヲ開始シタル模様ニ有之旁々當会社ハ此際何レノ方針ニ進ミテ可然哉判断ニ相苦ミ候ニ付暫ク其推移ヲ見ルヲ可ナリト思惟シ橋三郎ニ対シ別紙書面写(乙)ノ通リ訓示致候間右御聽置被下度不取敢奉得貴意候 敬具

大正六年十一月二十六日 東亞興業株式會社  
社長 古 市 公 威(印)  
外務省政務局長 小幡 西吉殿

五 南潯鐵道ニ閔スル件 四九〇  
外務省政務局長 小幡 西吉殿  
五 南潯鐵道ニ閔スル件 四九〇

註 別紙甲及乙省略

四九〇 十二月二十七日 古市東曲興業株式會社社長ヨリ

**南潯鐵道延長問題ニ閔スル橋出張員報告書写**

附屬書 十二月十八日付在北京橋東亞興業出張員ヨリ古市社長宛報告書写

拝啓南潯鐵道延長線ノ件ニ閔シ在北京當社出張員橋三郎ヨリ別紙ノ通り報告ニ接シ候間為御参考供貴覽候 敬具

大正六年十二月二十七日

東亞興業株式會社

社長 古 市 公 威(印)

外務省政務局長 小幡 西吉殿

(附屬書)

大正六年十二月十八日

東亞興業株式會社 在北京 橋 三 郎

社長 吉市 公威殿

外務省政務局長 小幡 西吉殿  
五 南潯鐵道ニ閔スル件 四九〇

拝啓程允、鄒維良、陳隆恪三人名義ヲ以テ別紙請願書写ノ

通り總統府及國務院へ提出致候本週末國務會議ノ際付議セ

ラルヘキ答ト程ハ申居候此ノ手数ヲ為ス為メ程ハ殆ト五六

日間ハ東奔西走憑總統ニ内見ヲ願ヒ出ツルヤラ非常ノ尽力

致候

日本ニ於ケルト違ヒ請願書提出スルニシテモ之ヲ受理サル迄ハ種々ノ運動ヲ要スル次第ニテ実地ヲ見ル人デナクテハ了解不被致候

兎モ角此請願書ヲ國務院ナリ總統府ニテ受理セシメタルコトハ田舎出ノ程トシテハ非常ノ勤キト在北京ノ運動家若クハ彼此組ハ感賞致居候程モ該請願書受理サレタル以上ハ至急上海ニ帰リ南潯株主若クハ新發企人等ト申合セ江西督軍省長ヲ此方ノモノニ談ラヒ更ニ督軍省長名ヲ以テ國務院總統府ニ向ヒ程等ノ計画ヲ裏書サスル必要有之二三日中北京出發上海ニ向ヒ可申候

右ニ付小生等モ先日梁士詒ト御會議ノ御模様承知シタ上ニテ交通部内ノ連絡ヲ堅メ置キ年末用事ヲ片付ケ旁漢口ヘ引取り上海ニテ程等ト会同更ニ北京ヘ罷越スルコトト可致左様御諒承被下度候 敬具

ノ鉄道ヲ収用ゼン是国有ニ帰スル能ハサル亦勢ノ必至如何トモスヘカラサルモノナリ

然リト雖モ凡ソ事両難ノ間ニ処シ豈遂ニ転圜ノ余地ナクシテ其收拾スヘカラサルニ一任スヘケンヤ查スルニ本鉄道最初創弁ノ当日ニ於テハ原ト直チニ贛南ニ達シ廣東省境ニ通スルヲ以テ完全ノ事業トナシタルナリ即チ九江南昌間ハ第一段ニシテ南昌吉安間ハ第二段吉安ヨリ贛州ニ至ルヲ第三段ト為ス各段造成ノ後広東鉄道ト接続、江西広東兩省ノ貨客ヲ連絡スルトキハ來往繁衆即チ南潯ノ収入モ今日ニ比シテ当サニ數倍ヲ加フヘク外債ノ元利モ一定ノ期間ニ完済スルコト困難ニアラス惜ム可シ当事者其人ヲ得サルニ由テ種々ノ誤謬ヲ重ネ歲月ヲ遷延シ工程ヲ玩弄シ僅カニ此二百余（支那）里糜費一千余万展転十余年即チ車ヲ通スルモ猶欠点多ク日々ノ収入ハ直接経費ヲモ償フニ足ラサルナリ

今ノ計ヲ為サントスルニハ只政府ニ請フテ必ス国有ニ収帰センコトヲ期スルト共ニ一面資本ヲ集メテ南贛韶間ノ鉄道ヲ開辦シ以テ完全ノ功効ヲ求ムルニ在リ南潯外債ニ至テハ當サニ債權者ト商議或ハ資金ヲ籌シテ分還スルカ或ハ契約ヲ改訂シ延長線全路ノ通車ヲ待チ分年攤還スルカ蓋シ債

江西鐵路維持ニ付陳情  
(別紙)

江西南潯鐵路困難急迫ノ情形ハ久シク既ニ鉤鑑ヲ經タリ近日各株主ハ会ヲ開キテ討論ヲナシ督軍省長モ亦電ヲ馳セテ奔走或ハ維持ヲ籌画シ或ハ國有ニ帰セシコトヲ請フ全省皇々茫々トシテ定計ナシ然ルニ本鉄道将来ノ結果ヲ考フルニ三途ニ外ナラス一ハ旧ニ仍リテ商辦トスルコト一ハ收メテ國有ニ帰スルコト一ハ外人ヨリ營業ヲ代管スルコト是レナリ夫レ外人ノ代管ハ智愚トナリ皆其不可ナルヲ知ル若シ旧ニ仍リテ商辦トスルトキハ資金募集ニ窮シ債務整理ニ方ナシ誠ニ万支持シ難キニ属ス然レハ則只收メテ國有ニ帰スルアルノミ國有ノ議乃チ屢々陳情ヲ經テ未タ認可施行ヲ蒙ラサルハ何ノ為ナリヤト云フニ九江南昌兩地商務盛ナラス旅客貨物ノ出入数ニ限量アルニ由リ如何ニ鉄道ノ施設ヲ整ヘ改良ヲ加フルトモ収入ハ断シテ増加シ難シ今日ノ處ニテハ毎日ノ収入一千元内外ニ過キス直接費ヲ償フニ足レハ幸ナリ焉ソ余資ノ債務ノ償却ニ用ユルアラシニヤ株主ニ於テ已ニ此困難ニ堪フル能ハス國家亦豈重累ヲ増スニ堪ヘンヤ況ニヤ此中央國庫窮乏ノ際何ニ由テ數百萬金ヲ籌シテ利益ナキ

期若シ滿チ彼即チ契約ヲ履行シ當業ヲ代管スルトセンカ収入決シテ多キヲ加フル能ハス徒ラニ地方人民ノ疑忌ヲ増シ或ハ別種ノ事端ヲ釀生スルノ恐レアリ其一利ナキノ鉄道ニ踞シテ兩國ノ國民ニ碍ケアランヨリハ如カス靜カニ生機ヲ俟チ債權利益ヲ保全ゼンニハ此固ヨリ与ニ誠ヲ開キ公ヲ布キ切実ニ双方ノ間ニ懇談妥商スヘキモノナリ然レトモ議者必ス以為ラク國庫已ニ窮乏何ヲ以テ全路ヲ増弁スルヲ得ン又借款ノ一途ニ出ツルニアラスヤ南潯ノ債務スラ尚償還スル能ハス一層加倍セハ後慮何ソ堪ヘント夫レ借款創弁ノ誠ニ宜シキニ非ス但タ延長線ノ敷設ハ即チ南潯線ヲ救活スル所以ニシテ其為ニ新タニ起ス所ノ債務ハ即チ旧債ヲモ併セテ返還スル所以ニシテ固ヨリ他種ノ借款ト迦カニ相同シカラス否ラサレハ即チ寧ロ路權ヲ棄テ変通ヲ議セス群言競々借款ノ害ニ於テ又何ヲカ謂ハシ耶是レ収メテ國有ニ帰スルコトヲ請フ完備弁法ナリ

抑々更ニ請フモノアリ此軍書旁午ニ当テ交通部若シ此ニ及フニ暇ナキトキハ商等ヨリ資本ヲ籌集シテ先ツ南昌ヨリ贛県ニ至ルノ鉄道ヲ開辦セント欲スルコト是ナリ即チ民国初年交通部ヨリ員ヲ派シテ（陳西林）南贛韶間ノ鉄道線路ヲ

測勘シタル案ニ本ツキ南昌ヨリ贛州ニ至ル計長七百七十七華里原估需款一千七百九十四万九千元条例ニ照シ保証金一百四十万元ヲ提供スヘキニ付交通部ニ於テハ資本ノ験査ヲ行ヒ其確実ナルコトヲ認メラレタル上方サニ開辦ノ仮許可ヲ与ヘラレンコトヲ請フ商等業ニ已ニ右ノ資本金ヲ集メ全數準備セリ検査ノ上仮許可ヲ与ヘラルニ於テハ株式ノ募集ヲナシ進行ヲ図ルト共ニ一面広東商人ヲ邀ヘテ贛韶間ノ鉄道ヲ籌辦スヘシ該線路ハ計長四百二十八華里原估需款一千七百四十七万六千元按スルニ此全線ノ利益ハ必斯厚ク株主ノ希望者モ当然踊躍スヘシ且ツ両省ノ人民力ヲ通シテ協同交通部ヨリ員ヲ派シテ監理セハ既ニ南潯前車ノ鑑タリ当事者ノ人選ヲ嚴ニシ断シテ南潯路務ノ腐敗ノ如クナラス而

シテ一面南潯鉄路公司ニ会同シ債権者ト磋商變通メテ期ス全路通車ノ後ニ分年清理並ヒニ南潯工程ヲ籌画完竣ナラシム數者同時ニ並ヒ行ハレ路權失ハス現状維ク可キニ庶幾カラニカ固ヨリ奔走呼号徒ラニ済ス無キニ勞スルモノニ勝ルノミ是收メテ國有ニ帰セサルノ權宜辦法也  
凡ソ此兩種均シク切実ノ情形ヲ按スルニ係ル通盤籌算此ニ非レハ以テ危局ヲ救フニ足ラス更ニ以テ病源ヲ清ムルニ足ラス商等桑梓ヲ維持スル為ニ起見シ特ニ現金一百四十万元ヲ籌集シ以テ交通部ノ験査ヲ待ツ祇シテ大總統ノ鑑裁ヲ乞ヒ交通部ニ批令シ速カニ從テ核議以テ大局ヲ維カレンコトヲ迫切ノ至ニ勝ヘス

## 事項六 中國ヘノ兵器供給ニ關スル件

四九一 七月二十二日 斎藤在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ上原參謀總長宛(電報)

傳陸軍次長日本ヨリ速射山砲百二十門其他ノ

兵器購入方申出ノ件

(寫外務省接受七月二十四日)

支極秘八九号

本日陸軍次長傳良佐段總理ノ命ヲ受ケテ來訪シ廣東四川及海軍等ノ情況(支極秘九十)ヲ述ヘタル後今次国民党ノ紛擾並ニ復辟ニ独喫兩國ノ關係深キヲ說キ段總理ハ政府ノ事有スル正当ナル權利ニ基キ國家ノ統一ヲ計リ國利民福ヲ増進スルコトニ腐心シ未タ曾テ不義不正ナル行為ノ指摘セラルヘキモノナシ此場合一二日本政府ノ厚意ニ信頼セントス就テハ差シ当リ速射山砲百二十門、速射野砲六十門、十六珊瑚砲(或ハ榴彈砲)六十門三八式小銃二万挺(彈薬ノ数量ハ調査ノ上申出ル旨)ノ供給ヲ受ケタク之カ商談ハ泰平公司ニ就イテナスヘク代金仕払ヒ別ニ法ヲ講セントスルモ(借款シテ仕払ハントスルカ如キ口吻アリシ)先ツ以テ

四九二 七月二十三日 在中國林公使ヨリ本野外務大臣宛(電報)

日本官民ノ中國南方派援助ヲ掣肘シ段内閣要

請ノ兵器ヲ供与シ然ルベキ旨稟申ノ件

往電第一〇二一号ニ關シ

上海其他ヨリノ情報ニ依ルニ国民党系ノ政客ハ陸續廣東ニ